

デジタルビデオレコーダー EDR-MVシリーズ

EDR-MV41

EDR-MV81

EDR-MV161

取扱説明書

目 次

1. 製品概要.....	9
1.1 付属品	9
1.2 前面パネル	9
1.3 背面パネル	10
2. システム起動	11
2.1 接続と起動.....	11
3. タスクバー	15
3.1 状態表示.....	15
3.2 ログオフ.....	15
3.3 メインメニュー	16
3.4 検索メニュー	16
3.5 画面表示方式.....	16
3.6 パンチルト制御画面表示.....	17
3.7 デジタルズーム	18
3.8 システムログ表示	18
4. 検索及び再生	22
4.1 検索	22
4.2 パノラマ検索	25
4.3 イベント検索.....	25
4.4 SMART検索	26
4.5 コピー(バックアップ).....	26
5. 設定	27
5.1 カメラメニュー設定	27
5.1.1 タイトル名設定.....	28
5.1.2 映像	28
5.1.3 PTZ.....	30
5.1.4 モーション	31
5.1.5 プライバシー設定	32
5.1.6 カメラポート	33
5.2 画面設定メニュー設定	36
5.2.1 OSD.....	36
5.2.2 モニター設定	37
5.2.3 シーケンス.....	38
5.2.4 スポット.....	38
5.3 ディスク設定	39
5.3.1 設定	39
5.3.2 フォーマット	42
5.3.3 NAS/FTP※当社では非サポートとさせて頂いております。	43
5.4 システムメニュー設定	43
5.4.1 日付 / 時間	43
5.4.2 管理	44
5.4.3 音声	46

EDR-MV Series Instruction Manual

5.4.4	RS-485	47
5.5	アドバンスト	47
5.6	イベント / センサー	48
5.6.1	センサー入力	49
5.6.2	アラーム出力	50
5.6.3	ブザー出力設定	52
5.6.4	Eメール設定	53
5.6.5	PTZ連携動作	54
5.6.6	プッシュアラーム	55
5.6.7	POS	55
5.7	ユーザー	57
5.7.1	ユーザー登録	57
5.7.2	ユーザー権限設定	58
5.7.3	ログアウト	58
5.8	録画	59
5.8.1	設定	59
5.8.2	イベント	60
5.8.3	スケジュール	60
5.8.4	その他設定	62
5.9	ネットワーク	63
5.9.1	IP 設定	63
5.9.2	DDNS	64
5.9.3	Eメール	65
6.	付録	67
6.1	仕様	67
6.2	外観	68
6.3	保証と修理サービスについて	69



安全上の注意

安全にお使いいただくために – 必ずお守りください








この「安全上のご注意」は、本機を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

ご使用前によく読んで大切に保管してください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。











図記号の意味

	名称：注意 意味：注意（しなければならないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：禁止 意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：強制 意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：風呂場・シャワー室での使用禁止 意味：製品を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	名称：接触禁止 意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	名称：分解禁止 意味：製品を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	名称：電源プラグ・AC アダプタをコンセントから抜け 意味：使用者に AC アダプタをコンセントから、または USB ケーブルをパソコンから抜くように指示するもので、図の中に具体的な指示内容が描かれています。






警告

<p>万一、煙が出ている、変なおいや音がするとき、すぐに AC アダプタをコンセントから抜く。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p> <p>煙などが出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>	
<p>万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず電源プラグ・ACアダプタをコンセントから抜く。ただちに販売店にご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	
<p>万一、異物が機器の内部に入った場合は、まずACアダプタをコンセントから抜く。ただちに販売店にご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると火災・感電の原因となります。（特にお子様のいる環境ではご注意ください。）</p>	
<p>万一、画面が映らないなどの故障の場合には、ACアダプタをコンセントから抜く。それから販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	
<p>万一、機器を落とすなどによりキャビネットなどを破損した場合は、ACアダプタをコンセントから抜く。それから販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	
<p>この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは外さない。</p> <p>内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。</p> <p>内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。</p>	
<p>この機器を改造しない。</p> <p>火災・感電の原因となります。</p>	
<p>電源プラグ・ACアダプタのコードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。</p> <p>そのまま使用すると火災、感電の原因となります。</p>	
<p>電源プラグ、ACアダプタは必ず付属品を使用する。</p> <p>火災・感電の原因となります。</p>	
<p>付属の電源コード・ACアダプタは本機専用です。</p> <p>他の機器には使用しないでください。</p>	
<p>電源プラグの刃や取り付け面にほこりが付着している場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、ほこりを取り除く。電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。</p>	
<p>表示された電源電圧（交流100V）で使用する。</p> <p>表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。</p>	
<p>ACアダプタのプラグの刃や取付面にほこりが付着している場合は、ACアダプタ本体を抜いてから、プラグ上のほこりを取り除く。</p> <p>ACアダプタのプラグの絶縁低下により、火災の原因となります。</p>	
<p>雷が鳴り出したら本体、接続ケーブル、電源プラグ・ACアダプタなどには触れない。</p> <p>感電の原因となります。</p>	
<p>風呂場、シャワー室などの水がかかるおそれのある場所、湿度の高い場所で使用しない。</p> <p>火災・感電の原因となります。</p>	
<p>ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。</p> <p>落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。</p>	

警告

この機器に水を入れたり、ぬらしたりしない。 火災・感電の原因となります。 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。	
ぬれた手で電源プラグ・ACアダプタを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。	
電源プラグ・ACアダプタの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしたりしない。 コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。（コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物を乗せてしまうことがあります。）	
電源プラグ・ACアダプタを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 コードが破損して火災・感電の原因となります。	
電源コードやACアダプタコードをACアダプタ本体に巻きつけたり、結んだり、小さく束ねたりしないでください。 コードが破損して火災・感電の原因となります。	
この機器に水が入ったり、ぬらしたりしない。 火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。	
本機の上に花瓶・水の入った容器・薬品などを置かない。 こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。	
本機およびACアダプタはカーペットや布団の上に置いて使用しない。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。	
本機およびACアダプタはテーブルクロスや布などをかぶせない。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。	
電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品が腐食する。 原因となることがあります。次のことを守り、安全にお使いください。 ・釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない。 ・強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。	

注意

移動させる場合は、必ずACアダプタをコンセントから抜く。 外部の接続コードを外したことを確認のうえ、移動してください。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	
お手入れの際は、安全のためACアダプタをコンセントから抜いて行う。 感電の原因となることがあります。	
この機器を長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜く。 火災の原因となることがあります。	
お手入れの際は濡れた布やアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使用しない。 水が中に入ったり、ケースが劣化したり割れるなどして感電の原因となります。	
電源プラグ・ACアダプタを抜くときは、コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグ・ACアダプタを持って抜いてください。	

⚠ 注意

電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品が腐食する原因となることがあります。

次のことを守り、安全にお使いください。

- ・指定の電池以外は使用しない。
- ・電池から液がもれた場合は、もれた液を布などで拭き取り、新しい電池と交換する。
もれた液が手などに付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。
- ・交換時期がきたら、電池をすぐに取り出す。
- ・長期間使用しないときは、電池を取り出す。
- ・電池は加熱したり、火や水の中に投げ込んだりしない。
- ・極性(+)、(-)を正しく入れる。
- ・電池を廃棄するときは、地域の回収ルールに従ってください。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着したりして火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



ACアダプタのプラグは根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントに接続しない。

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



湿気やほこりの多い場所に置かない。

火災・感電の原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気・水滴が当たるような場所に置かない。

火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグ・ACアダプタのコードを熱器具に近づけない。

コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となることがあります。



リモコンから取り外した電池は、小さなお子様の手の届くところに放置しない。

小さなお子様は電池を飲み込むと、のどに詰まらせることがあります。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください



排気口からは温風が吹き出すため、次のものを置かないでください。

・スプレー缶（熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。）

・金属（高温となり、事故やけがの原因となります。）

・観葉植物やペット

・熱で変形したり、悪影響を受けたりするもの



レンズを直接太陽に向けない。

太陽光など、強い光の当たる場所に置かないでください。光が焦点に集まって火災になる場合があります。



設置および配線工事には経験と技術が必要ですので販売店にご相談ください。



購入後、定期的な点検や内部の掃除を販売店にご相談ください。

機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。



×印のついた車輪付きゴミ箱マークは、本製品が家庭ゴミとして破棄できないものであることを意味します。この機器を処分する際は、産業廃棄物の所定の収集場に引き渡す必要があります。産業廃棄物の引渡し場所については、各地の行政窓口または本製品の販売店までお問い合わせください。

使用上のご注意

- 付属品以外の AC アダプタは絶対に使用しないでください。
- 付属の電源コード・AC アダプタは本機専用です。他の機種に使用しないでください。
- 電源コードは、販売した国に合わせたものが付属されています。日本国内で販売された製品に付属の AC アダプタは、必ず AC100V、50Hz または 60Hz でお使いください。
- 電源コードや AC アダプタコードを AC アダプタ本体に巻きつけたり、結んだり、小さく束ねたりしないでください。
 - ✓ コードが破損して火災・感電の原因となります。
- 本機に電源スイッチはありません。保守・メンテナンスの際は、必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- AC アダプタは保守・メンテナンスできる場所に設置してください。
- 本機は屋内専用モデルです。屋外ではご使用になれません。
- 保管にあたっては直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。
 - ✓ 変色、変形、故障の原因となることがあります。
- 高圧電線や動力源の近くで使用しないでください。
 - ✓ 高圧電線や動力源の近くで使用すると、妨害を受ける場合があります。
- 湿気やほこりの多い場所、潮風のあたる場所、振動の多いところには置かないでください。
 - ✓ 使用上の環境条件は次のとおりです。
 - ✓ 温度：（推奨）10～35℃ （動作）-5℃～45℃
 - ✓ 湿度：20～80%（結露しないこと）
- 本機の清掃は、乾いた布で拭いてください。
 - ✓ シンナーやベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。
- カメラレンズを直接太陽あるいは強い光に向けしないでください。
- 撮影不能になることがあります。

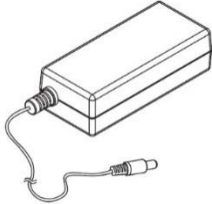
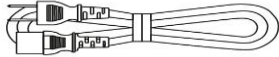

免責事項

本書に記載された内容、品質、性能、市販製、特定の目的との適合性に関し、当社は明示または暗示の保証、表現をしません。本書に記載された情報については十分に信頼性が確認されていますが、記載内容の誤りに対し当社は一切責任を負いません。本書に記載された情報は予告なしに変更される場合があります。いかなる場合も、株式会社エルモケイグランデは損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本製品または本書の使用または使用できないことから生じる直接的、間接的、偶発的、特殊なまたは派生的ないかなる損害に対しても責任を負わないものとします。

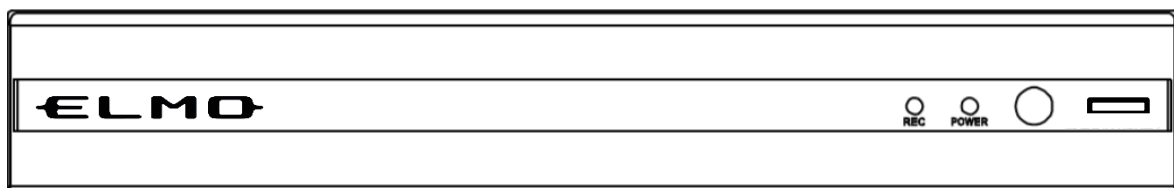
取扱説明は、原則として製品が発売された当初のものを掲載しています。従って、記載内容とお客様がお持ちの製品の仕様がその後のマイナーチェンジなどにより異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1.製品概要

1.1 付属品

	<p>ACアダプター</p> <p>※付属のアダプターは本製品専用です。 他の機器には使用しないでください。 また、他の機器のアダプターを本製品に使用しないでください。</p>
	<p>AC電源ケーブル</p> <p>※付属の電源ケーブルは本製品専用です。 他の機器には使用しないでください。 また、他の機器の電源コードを本製品に使用しないでください。</p>
	<p>有線USBマウス</p>
<p>その他</p>	<p>ゴム足 ターミナルブロック端子：4 チャンモデルのみ</p>

1.2 前面パネル

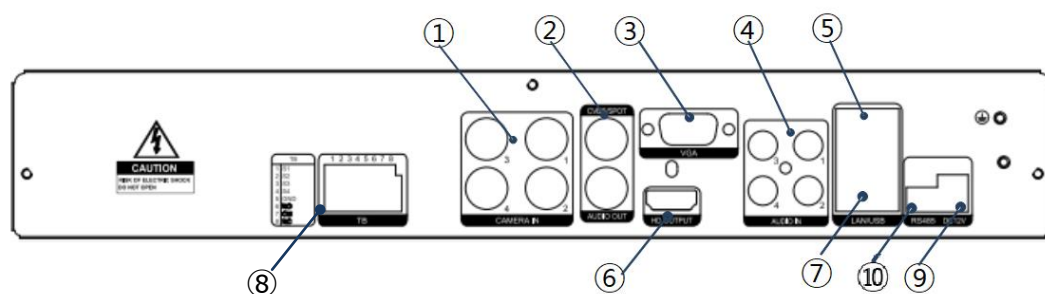


状態 LED

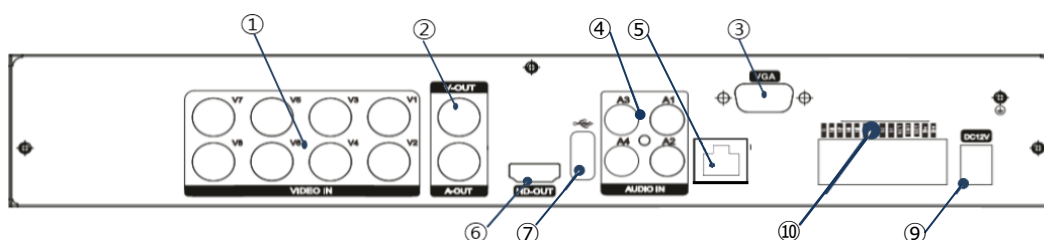
REC	録画状態の際に点灯
POWER	電源投入中の際に点灯

1.3 背面パネル

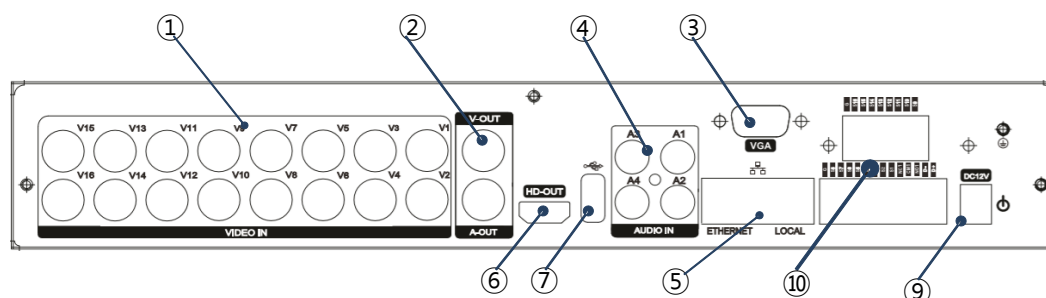
4チャンネル背面 (2xHDD 装着可能)



8チャンネル背面 (2xHDD 装着可能)



16チャンネル背面 (2xHDD 装着可能)



①	ビデオ入力	BNC タイプのカメラ入力	②	ビデオ出力/ オーディオ出力	BNC ビデオ出力 / RCA オーディオ出力
③	VGA	VGA モニター出力	④	オーディオ入力	RCA オーディオ入力
⑤	ネットワーク	4&8ch : Ethernet port x 1(Internet + IP Camera) 16ch : Ethernet port x 1(Internet+ IP Camera) / Local Port x 1 (IP Camera)	⑥	HD ビデオ出力	Full-HD ビデオ出力
⑦	USB	USB保存装置やUSBマウス用	⑧	Terminal Block 1	4ch : Relay output NO/CM/NC 4ch : Sensor input 4 port
⑨	DC 12V	DC 12V アダプター入力	⑩	Terminal Block 2	8ch : Sensor input 8 port 8ch : Relay output NO/CM/NC 16ch : Sensor input 16 port 16ch : Relay output NO/CM/NC 4ch&8ch&16ch: 外部キーボード やPTZコントローラ入力

2. システム起動

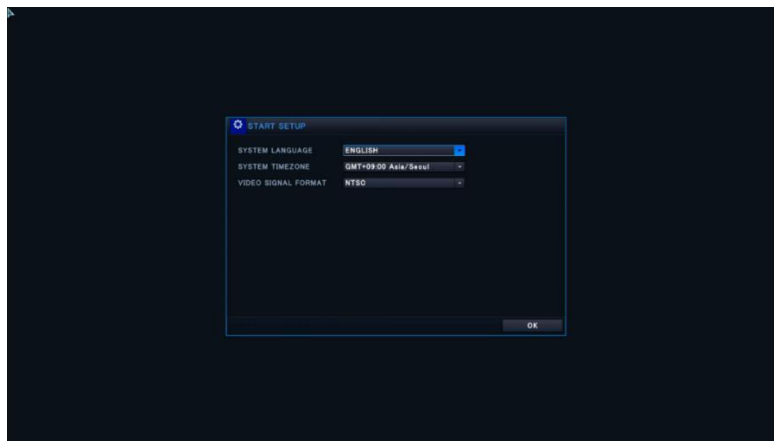
2.1 接続と起動

- ◆ 録画機本体に使用環境に合ったカメラを接続します。この時カメラの電源が入っていることを確認してください。
- ◆ 使用するモニターを出力端子に接続します。（デジタルビデオ出力端子(HDMI)、VGA 出力端子）
- ◆ 本体に電源を接続して、製品の電源を入れます。
- ◆ システムが起動中、次のような初期画面を表示します。



[初期ロゴ画面]

- ◆ 使用するモニターによって、初期ロゴ画面が表示されない場合があります。低い解像度に対応しないモニターでの現象ですので、製品の不良ではございません。
- ◆ 初期工場出荷状態の解像度は、**1920x1080** です。必ず **1920x1080** 以上の解像度に対応するモニターを使用してください。



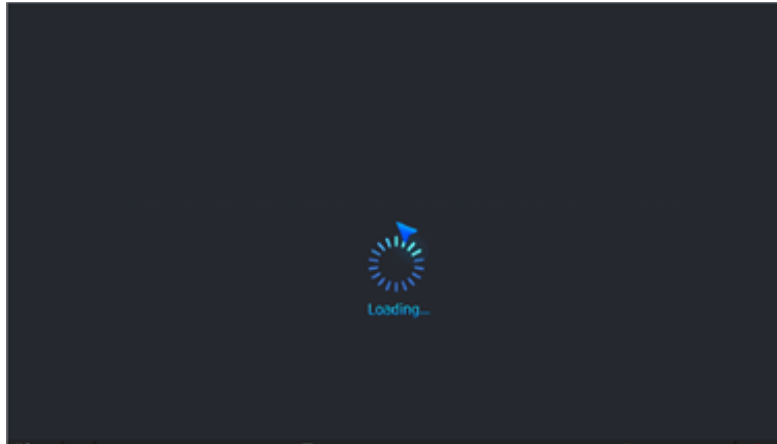
[初期設定]

- 🌈 システム言語 : DVRで使用する言語を設定します。
- 🌈 システムタイム・ゾーン : DVRで使用するタイム・ゾーンを設定します。

EDR-MV Series Instruction Manual

ビデオ信号形式：DVRで使用するビデオ信号形式を設定します。

- 初期設定メニューで選択したメニュー設定は工場初期化状態でも適用されます。

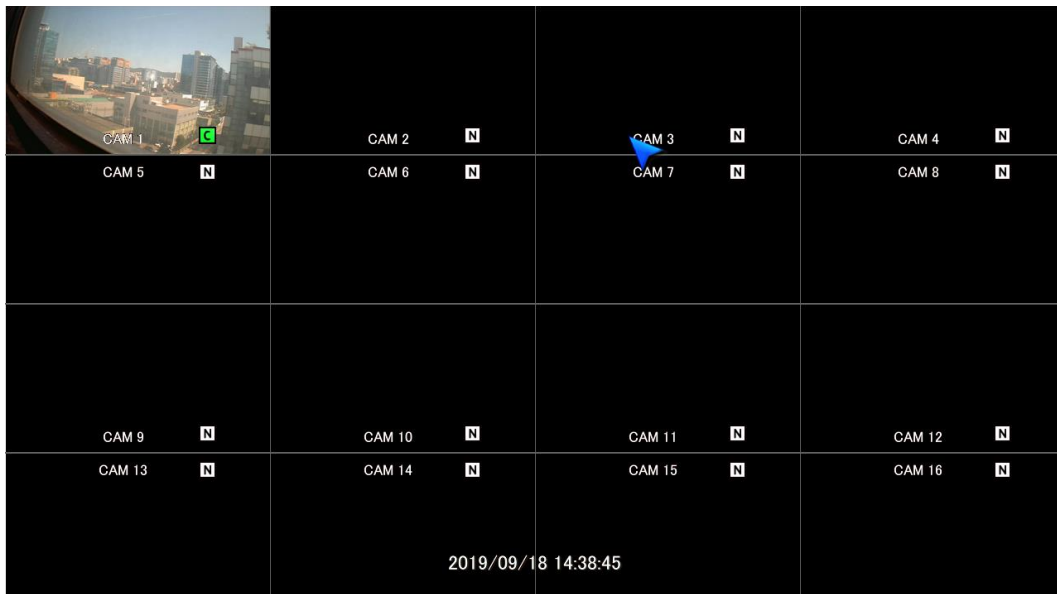


[ローディング画面]

機器の初期動作準備が完了すると上図のような‘ローディング画面’が表示され、進行状況が表示されます。

- ‘ローディング画面’が表示された時点から設定された条件によって、録画を開始します。
- ‘ローディング画面’では、内部的に出力画面を最適化するので画面が点滅したり、色合の異常が起こることがあります。

機器の全ての動作準備が完了すると、自動でログインして下図のような画面が表示されます。



工場出荷状態（初期値）では、ADMINのアカウントで自動的にログインする設定になっています。

（‘ADMIN’アカウントの初期パスワードは‘1234’です。）

自動ログインを使用しない場合はマウスを使用して、ログインアカウントを選択し、パスワードの入力を行います。アカウント選択しパスワードを入力した後‘Enter’ボタンや‘確認’ボタンをクリックするとログインします。

EDR-MV Series Instruction Manual

システムにログインすると下記のような「監視画面」が表示されます。※機器を起動する前に、カメラを接続することを推奨します。

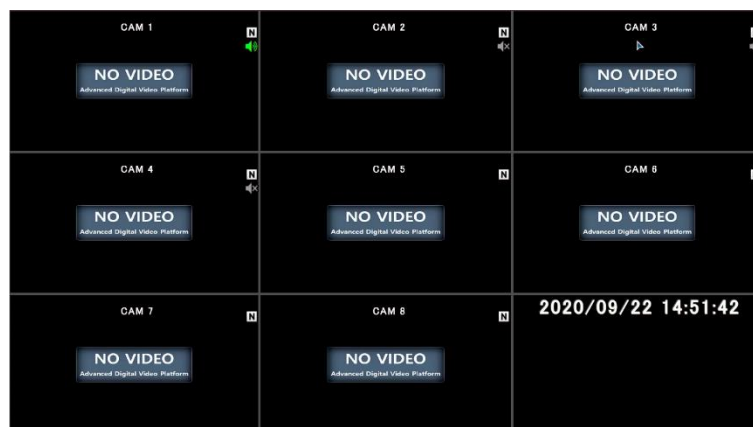


The login screen features a dark blue header with the text "LOG IN" in light blue. Below the header, there are two input fields: "ユーザー" (User) with the value "ADMIN" and a dropdown arrow, and "パスワード" (Password) which is currently empty. Below these fields is a virtual keyboard with a grid of keys including numbers, letters, and symbols. At the bottom of the screen are two buttons: "確認" (Confirm) and "取消" (Cancel).

[ログイン画面]

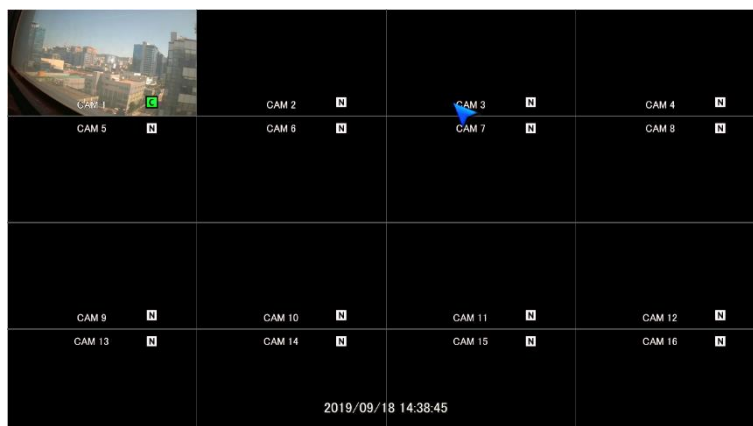


[4チャンネル録画機監視画面]



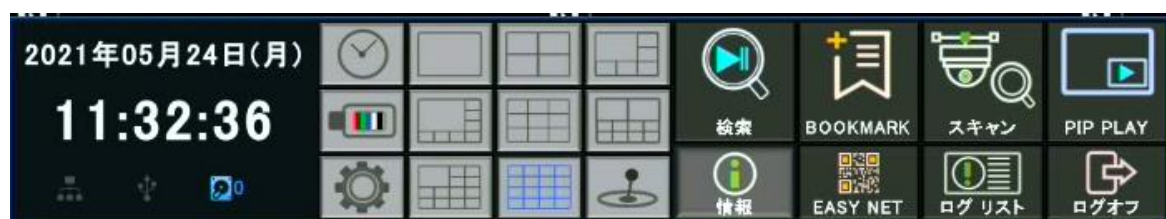
[8チャンネル録画機監視画面]

EDR-MV Series Instruction Manual




[16チャンネル録画機監視画面]

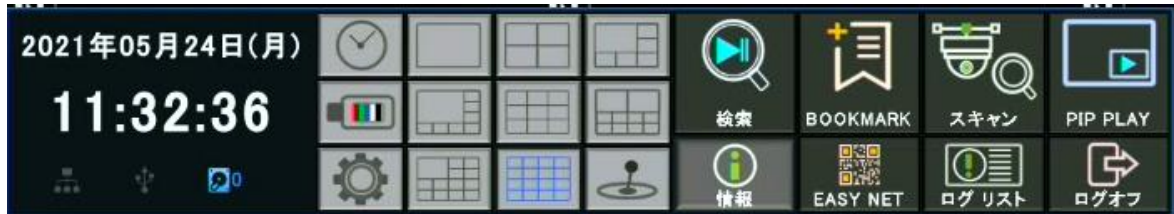
画面下の方にタスクバーが表示されます。



<div>2020年09月22日(火)</div> <div>11:29:35</div> <div>現在の日付、時間</div>	<div>ネットワーク 遠隔接続状態</div>	<div>USB保存装置 接続状態</div>	<div>ハードディスク 書き込み中のHDD表示</div>	<div>時間変更</div>
<div>カメラの色補正</div>	<div>メインメニュー (設定メニュー)</div>	<div>分割画面</div>	<div>PTZ</div>	<div>検索 検索/コピー</div>
<div>BOOKMARK ブックマーク設定</div>	<div>スキャン IP カメラスキャン</div>	<div>PIP PLAY PIP表示</div>	<div>EASY NET ネットワーク ウィザード</div>	<div>ログリスト ログ表示</div>
<div>ログオフ ログオフ/ユーザー変更</div>				









3. タスクバー

タスクバーは、マウスポインタの位置を画面の下方に移動すると、画面に表示されます。メニュー設定で指定した時間後や、Exitボタン()を押す事で消すことができます。メニュー設定で常に表示することも可能です。



3.1 状態表示

現在時刻 / ネットワークケーブル接続有無 / USBストレージ接続有無 / シーケンシャル表示有無 / 現在録画されているHDD番号 / 現在出力中のオーディオチャンネルを表示します。

-   2020年09月22日(火)
11:29:35 : 現在時刻を表示します。(年/月/日/時/分/秒)
-   : ネットワークを通じて映像が転送される時、アクティブ表示になります。
-   : USBストレージが接続されている場合、アクティブ表示になります。
-   : 現在録画中のHDDの番号を表示します。

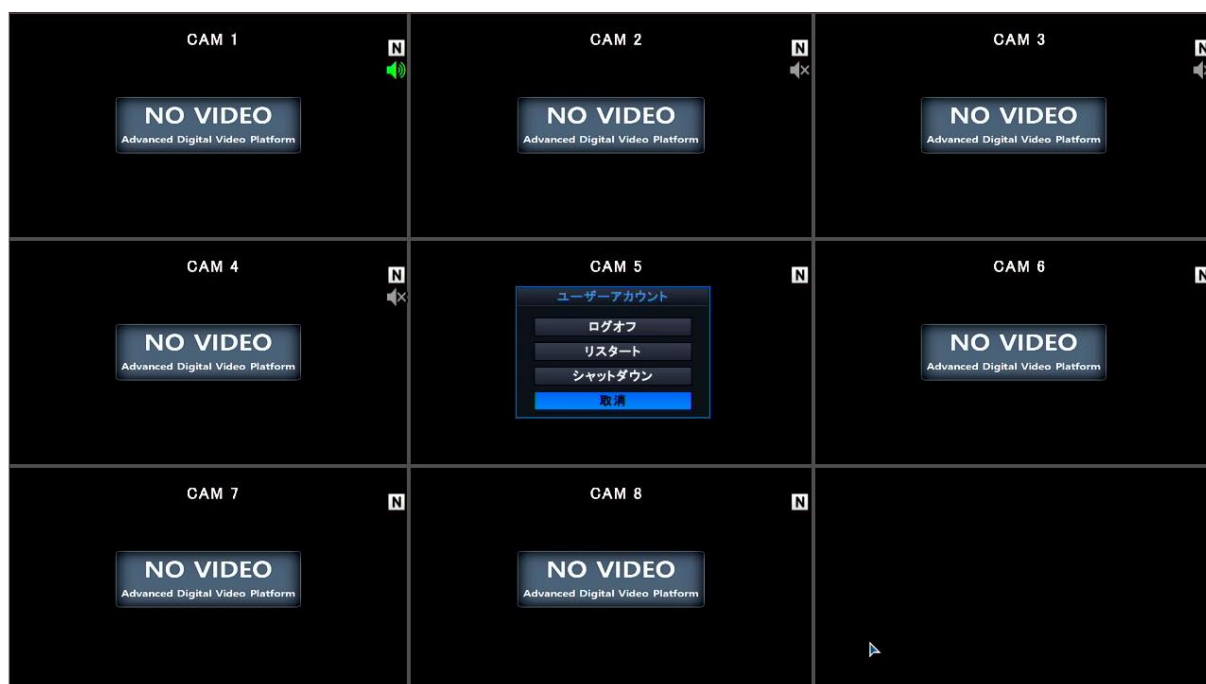
3.2 ログオフ

ユーザーが手動でログオフしたり、メニュー上でユーザーが設定した時間が過ぎると、自動的にログオフする二つの方法で、現在のログイン状態をログオフできます。

[タスクバーを利用したログオフ方法]



上図に表示されたログオフボタンを選択すると、ログオフできます。
ログイン方法は、初期ログイン方法と同一です。
一旦ログオフした後は、再度ログインするまで機器の操作は行えません。



[ユーザーメニュー設定を利用したログオフ方法]

設定メニューでユーザー→ログアウトメニューの設定によって、一定時間後自動的にログオフするように設定できます。

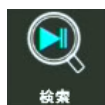
3.3 メインメニュー

下図に表示されたメニューボタンを押すと、機器のメインメニュー画面を表示します。



3.4 検索メニュー

下図に表示された検索ボタンを押すと、保存された映像を検索/再生する検索画面を表示します。



3.5 画面表示方式

リアルタイム監視画面の表示方式を選択します。単一チャンネル、分割画面表示、シーケンシャル表示から選択できます。



: 1画面表示



: 4分割画面表示



: 6分割画面表示



: 8分割画面表示



: 9分割画面表示

3.6 パンチルト制御画面表示

下図に表示されたボタンを押して、パンチルト制御画面を表示し、機器に接続されたパンチルトカメラを制御できます。



分割画面状態でパンチルト制御画面を表示する場合、マウスを使用して選択したチャンネルに接続したカメラのパンチルト制御が可能です。チャンネルを選択していない場合は1番カメラのパンチルト制御になります。

単一画面表示状態でパンチルト制御画面を表示すると、現在表示中のカメラに対してパンチルト制御が可能になります。

- パンチルト制御をするためには、パンチルトメニューを設定してください。
- パンチルトカメラの対応プロトコルは下記の通りです。（プロトコルが違う場合、制御できません。）
 - PELCO-D、PELCO-P、PELCO-C



[パンチルト制御画面]

- ✚ 1 : PTZカメラのチャンネルを選択します。
 - ✚ 2 : プリセットセットと移動：セットの際はチェックをONにしてください。
 - ✚ 3 : ツアー機能スタートと終了を選択します。
 - ✚ 4 : PTZ制御
 - ✚ 5 : PTZ制御の大きさを調整します（小/大）
 - ✚ 6 : PTZメニューで設定したPTZの制御スピードを表示します。
 - ✚ 7 : 自動フォーカス調整を行います。
 - ✚ 8 : 自動スキャンを行います。
- Pelco-C（Coaxitron）機能を支援するカメラを使う場合、[IRIS 開く] ボタンを用いてカメラのメニューを動作させることができます。

3.7 デジタルズーム

マウスのドラッグ動作でデジタルズームを制御できます。



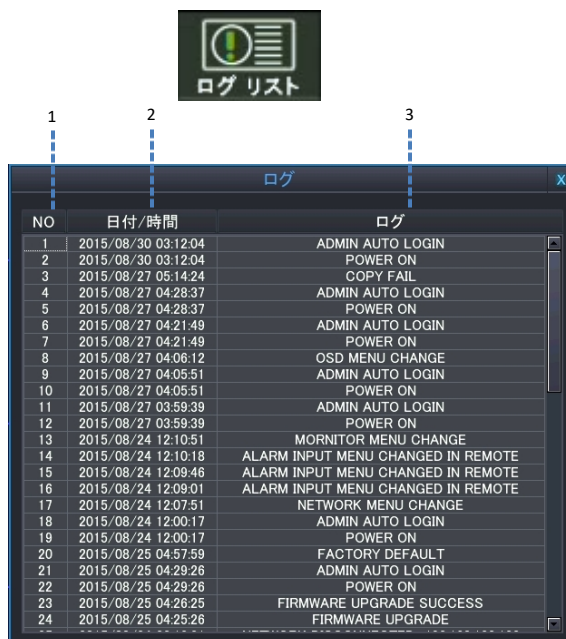
【マウスドラッグを使ったデジタルズーム】

単一画面表示状態で、マウスの左ボタンを押したまま希望する領域をドラッグすると、選択された領域に対して拡大した映像を表示します。拡大表示状態でマウスをクリックすると、元のサイズでの表示になります。

- デジタルズーム機能は、リアルタイム監視画面と再生画面で使用できます。
- デジタルズームは単一画面表示状態で使用可能です。

3.8 システムログ表示

下図に表示されたシステムログボタンを押すと、機器の主な履歴を表示するログが表示されます。



- 1 : 新たに発生したログが、一番上に表示されます。(最大10,000個のログが記録されます。)

EDR-MV Series Instruction Manual

2 : ログが発生した日付/時間を表示します。

3 : ログ情報を表示します。

ログリストに登録されるログは次の通りです。

- Power ON/OFF: 電源 ON/OFF
- Backup Start: バックアップ実行
- Disk Format: HDDフォーマット実行
- Factory Default: 工場出荷状態に初期化
- Camera Menu Change: カメラ名変更
- PTZ Menu Change: PTZカメラ設定変更
- OSD Menu Change: OSD変更
- Monitor Menu Change: モニター設定変更
- Sequence Menu Change: シーケンシャル表示設定変更
- Date/Time Menu Change: 日付/時間 変更
- System Management Menu Change: システム管理メニュー変更
- Sound Menu Change: オーディオ設定変更
- User Management Menu Change: ユーザー管理設定変更
- Authority Menu Change: 権限設定変更
- Logout Menu Change: ログアウト設定変更
- Network Menu Change: ネットワーク設定変更
- DDNS Menu Change: DDNS設定変更
- Alarm In Menu Change: アラーム入力設定
- Alarm Out Menu Change: アラーム出力設定変更
- Buzzer Out Menu Change: ブザー出力設定変更
- E-Mail Notification Menu Change: Eメール設定変更
- Disk Management Menu Change: ディスク管理設定変更
- Record Configuration Change: 録画設定変更
- Record Schedule Change: 録画スケジュール変更
- Firmware Upgrade Success: システム設定からのファームウェアアップグレード成功

EDR-MV Series Instruction Manual

- Firmware Upgrade Fail: システム設定からのファームウェアアップグレード失敗
- Admin(User 1 ~ 10) Auto Login: 自動ログイン
- Admin(User 1 ~ 10) Login: ログイン
- Admin(User 1 ~ 10) Password Fail: パスワード間違い
- HDD 1(1 ~ 5) Error For Write: HDD書き込みエラー
- HDD 1(1 ~ 5) Fail For Write: HDD書き込み失敗
- HDD 1(1 ~ 5) Error For Read: HDD読み込みエラー
- HDD 1(1 ~ 5) Fail For Read: HDD読み込み失敗
- Network Connected : xxx.xxx.xxx.xxx: ネットワーク接続
- Time Adjust: 時刻補正
- Network Disconnected : xxx.xxx.xxx.xxx: ネットワーク切断
- Watchdog Reset: 自動復旧
- Menu Data Backup Succeeded: 設定値をUSBメモリーにバックアップ成功
- Menu Data Load Succeeded: 設定値をUSBメモリーから復元成功
- Menu Data Backup Failed: 設定値をUSBメモリーにバックアップ失敗
- Menu Data Load Failed: 設定値をUSBメモリーから復元失敗
- Camera Menu Changed In Remote: リモートでチャンネルタイトル変更
- PTZ Menu Changed In Remote: リモートでPTZ設定変更
- OSD Menu Changed In Remote: リモートでOSD設定変更
- Monitor Menu Changed In Remote: リモートでモニター設定変更
- Sequence Menu Changed In Remote: リモートでシーケンシャル設定変更
- Date&Time Menu Changed In Remote: リモートで日付/時刻 変更
- System Management Menu Changed in Remote: リモートでシステム管理設定変更
- User Management Menu Changed in Remote: リモートで管理メニュー変更
- Authority Menu Changed in Remote: リモートで権限変更
- To Logout Menu Changed in Remote: リモートでログアウト設定変更
- Network Menu Changed in Remote: リモートでネットワーク設定を変更
- DDNS Menu Changed in Remote: リモートでDDNS設定を変更

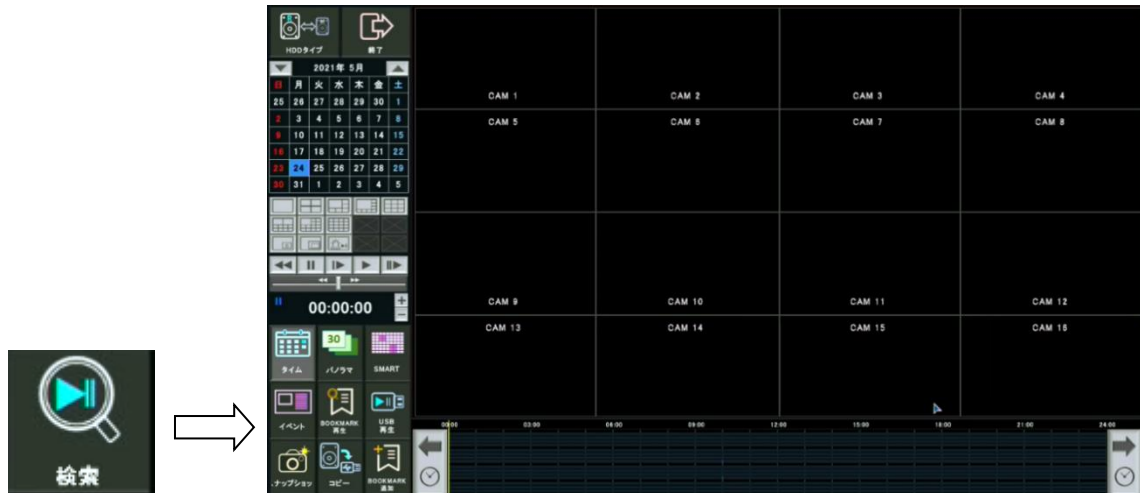
EDR-MV Series Instruction Manual

- E-Mail Menu Changed in Remote: リモートでEメール設定を変更
- Alarm input Menu Changed in Remote: リモートでアラーム入力設定変更
- Alarm Output Menu Changed in Remote: リモートでアラーム出力設定変更
- Buzzer Menu Changed in Remote: リモートでブザー設定変更
- E-Mail Event Menu Changed in Remote: リモートでイベントEメール設定変更
- Disk Menu Changed in Remote: リモートでディスク管理設定変更
- Continuous Record Menu Changed in Remote: リモートで常時録画設定変更
- Schedule Record Menu Changed in Remote: リモートで録画スケジュール変更
- Record Misc Menu Changed in Remote: リモートで録画設定変更
- FAN Error: ファン回転エラー
- Copy Success: コピー成功
- Copy Fail: コピー失敗
- Backup Start: バックアップ開始
- Backup Stop: バックアップ停止
- Power OFF: 電源OFF
- HDD [NUMBER] HAVE BEEN INSTALLED : DVRに搭載されているHDD表示
- HDD [NUMBER] HAVE BEEN REMOVED : DVRから削除されたHDD表示

4. 検索及び再生

4.1 検索

カレンダーと時間選択表で時間検索を行います。



 <p>HDDタイプ</p> <p>再生HDD選択 (通常録画HDD ミラー録画HDD)</p>	 <p>2020年 9月</p> <p>日 月 火 水 木 金 土</p> <p>30 31 1 2 3 4 5</p> <p>6 7 8 9 10 11 12</p> <p>13 14 15 16 17 18 19</p> <p>20 21 22 23 24 25 26</p> <p>27 28 29 30 1 2 3</p> <p>4 5 6 7 8 9 10</p> <p>カレンダー表示</p>	 <p>再生画面分割モード 変更</p>	 <p>PIP表示</p>
 <p>再生動作制御 ジョグシャトル</p>	 <p>00:00:00</p> <p>現在の再生時間 時間入力検索</p>	 <p>タイム</p> <p>カレンダー検索モード</p>	 <p>30</p> <p>パノラマ</p> <p>パノラマ検索モード</p>
 <p>SMART</p> <p>スマート検索モード</p>	 <p>イベント</p> <p>イベント検索モード</p>	 <p>BOOKMARK 再生</p> <p>Bookmark 再生</p>	 <p>BOOKMARK 追加</p> <p>Bookmark 追加</p>
 <p>スナップショット</p> <p>再生スナップショット</p>	 <p>USB 再生</p> <p>USB ストレージ 再生 (*.dvr)</p>	 <p>コピー</p> <p>録画データコピー</p>	 <p>再生画面</p>



[録画タイムテーブル]

- ◆ **00:00 03:00** : 録画テーブル間隔(基本間隔3時間)
- ◆ マウスホイール(上・下)動作で録画テーブル間隔の調節
- ◆ ◀ ▶ : 録画テーブル時間移動



検索 HDD : 検索する HDDタイプを選択します。

- 録画 : 録画で設定されているHDDを検索する。
- ミラー : ミラーリングで設定されているHDDを検索する。




カレンダー : 検索する日付を選択するカレンダーを表示します。該当日付に録画データがある場合、明るい青色で表示されます。録画データがある日付を選択すると、その検索結果を時間単位で時間表示エリアに表示します。



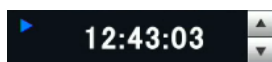
分割モードを設定します



再生画面でライブ画面にPIP表示、「」ボタンでイベント録画のみを時間軸に表示



再生制御: 検索画面の映像表示窓で、再生映像の再生速度等を制御します。



現在再生中の時間を表示します。そして、右側の上・下ボタンを使用して目的の時刻を検索することができます。

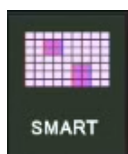
EDR-MV Series Instruction Manual



📅 カレンダー検索モードで録画データ検索ができるようにする。



📅 目的のチャンネルを選択し、30枚の時分秒単位のパノラマ検索ができるようにする。



📅 希望するチャンネルを選択し、指定した領域に動きのある区間を検索できるようにする。



📅 イベント検索：希望するイベント条件で検索します。



📅 Bookmark 指定した区間を検索できるようにします。



📅 再生中に必要な区間をBookmarkに指定する。

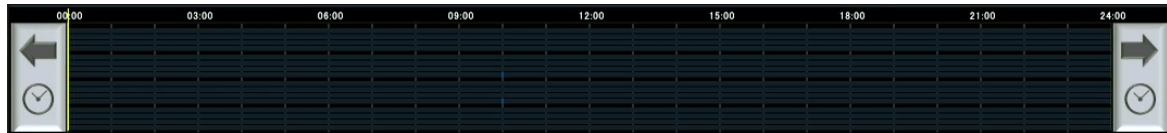


📅 USB保存デバイスにコピーされた*.dvr形式のバックアップデータを再生する。



📅 録画データをUSB保存装置にバックアップする。

EDR-MV Series Instruction Manual



00:00 03:00 : 録画テーブル間隔(基本間隔3時間)

マウスホイール(上・下)動作で録画テーブル間隔の調節

◀ ▶ : 録画テーブル時間移動

黄色の垂直線をマウスドラッグ&ドロップし、希望する時間の再生を開始する。

4.2 パノラマ検索

パノラマ検索は希望するチャンネルを16分割画面に表示し、希望する 時/分/秒 単位に展開して再生します。

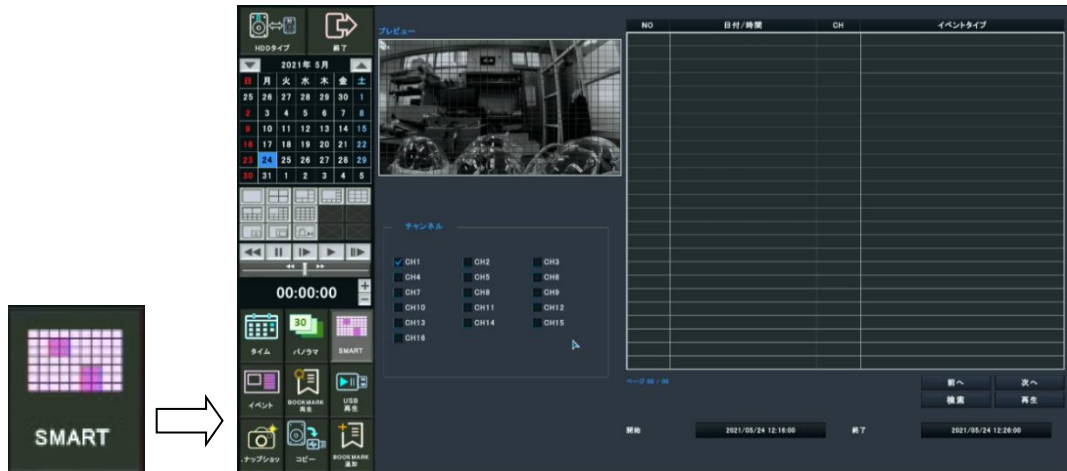
4.3 イベント検索



イベント検索の時間選択は上図のように「タイムバー」から希望する時間をマウスで選択し設定します。

- イベントリストは、一度に 20 個ずつ 25 ページまで表示します。(最大 500 件)
- イベントリストが 500 件を超えたら、イベント検索開始時間を調節して再度検索してください。

4.4 SMART検索

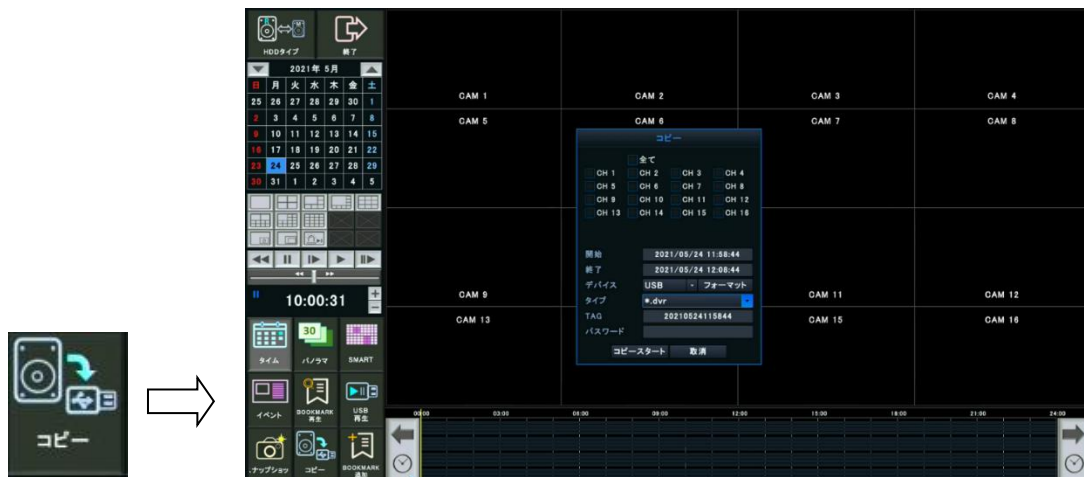


希望するチャンネルを選択し、指定した領域に動きのある区間を検索できるように設定します。



プレビュー映像枠で検索したい領域を指定して検索を押すと、領域に動きが感知された時間を検索します。

4.5 コピー(バックアップ)



EDR-MV Series Instruction Manual

- ✚ チャンネル選択：録画したデータからバックアップするチャンネルを選択します。
 - ✚ 開始：録画したデータのバックアップ時間を設定します。
 - ✚ 終了：録画したデータのバックアップ終了時間を設定します。
 - ✚ デバイス：バックアップするデータを記録する保存装置を選択します。
 - ✚ タイプ：保存形式を選択します(*.dvr/*.*avi)。
 - ✚ TAG：バックアップするデータが記録されるファイル名を指定します。
 - ✚ パスワード：録画データ閲覧用のパスワードを設定します(任意)。
-
- ✚ コピースタート：選択した時間と条件でバックアップを開始します。バックアップを開始した後は、バックアップ画面に進行状況が表示され、'コピー停止'を選択するとバックアップを中止できます。

USB メモリーにバックアップが正常に行われない場合、ディスクメニューの フォーマットメニューを使用して USB メモリーをフォーマットします。

5.設定

ステータスバーで設定メニューを選択するかリモコンでメニューを選択すると下記のような画面が表示される。



5.1 カメラメニュー設定

チャンネル名、映像、PTZ、CAMポートなどの設定を行う。主メニューでカメラを選択する。



5.1.1 タイトル名設定

🎨 タイトル: チャンネル名(カメラ表示名)を設定する。バーチャルキーボードから最大10文字までの英文名が表示可能です。

🔴 日本語は入力できません。



5.1.2 映像

カメラ映像の明るさ / コントラスト / 色合い / 彩度 / シャープネスの調整。

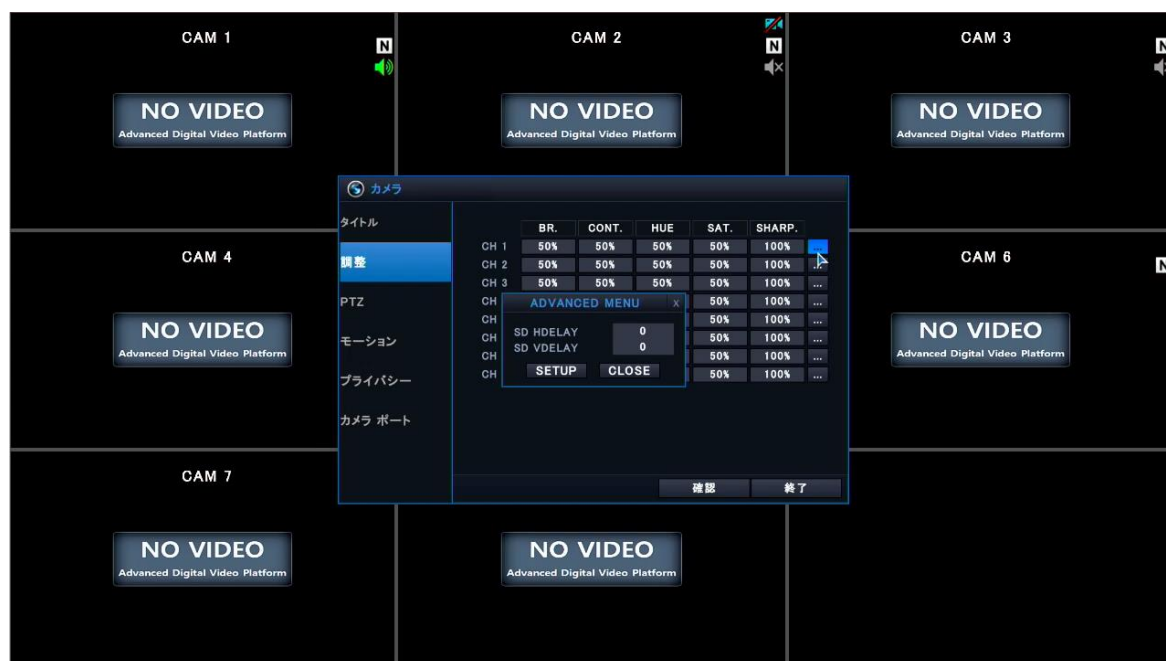


0～ 100%まで選択できます。設定するには上記図のXX%タブを左ダブルクリックすると下記の図のような設定画面がポップアップしますので調整が可能です。








ボタンを押すと該当チャンネルの現在SD HDELAY / SD VDELAY 表示します。

EDR-MV Series Instruction Manual



 **SETUP** : 選択したチャンネルの映像画面を補正できます。



-  **BR.** : 入力カメラの明るさ程度を設定することができます。
-  **CONT.** : 入力カメラの一番明るい部分と一番暗い部分との相対的な差を設定することができます。
-  **HUE** : 入力カメラの色相を設定することができます。
-  **SAT.** : 入力カメラの彩度を設定することができます。
-  **SHARP.** : 入力カメラの SHARP を設定することができます。

EDR-MV Series Instruction Manual

- SD HDELAY : SD(アナログ)カメラ映像の水平位置を調節します。
- SD VDELAY : SD(アナログ)カメラ映像の垂直位置を調整します。

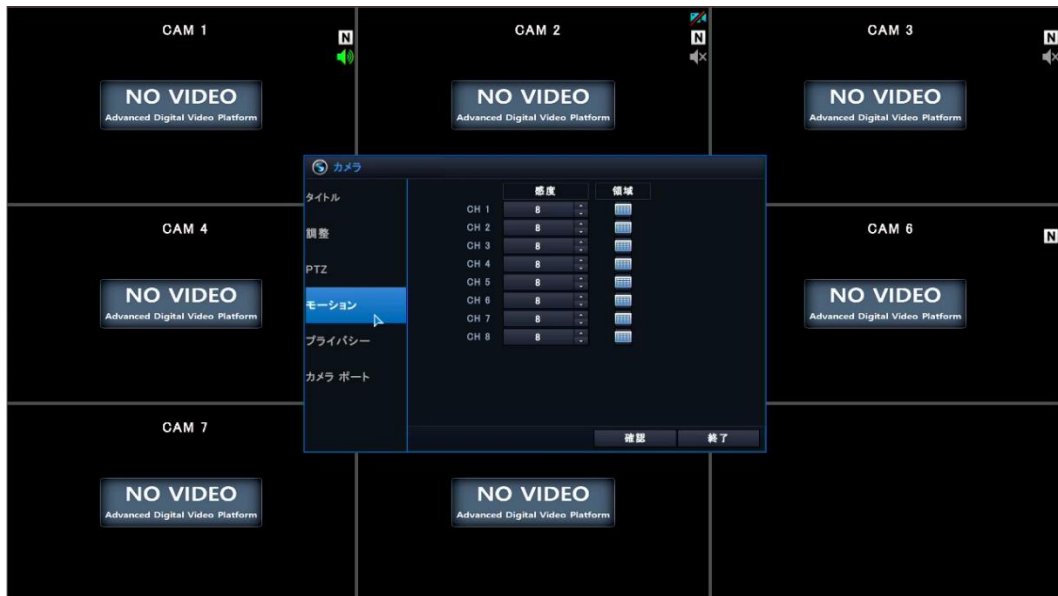
5.1.3 PTZ



- アドレス: RS-485 に接続したPTZカメラのID番号
- プロトコル: PTZ 制御に使用されるプロトコルを選択(PELCO-D, PELCO-P, PELCO-C, etc)
 - PELCO-C : TVI カメラは Coaxitron方式を使いカメラのメニューの操作ができます。
HIK Type 1 or 2を選択します。
- ボーレート: RS-485 速度選択
- 詳細設定: 自動フォーカス, 自動アイリス(IRIS), パンチルト速度, ズーム速度, フォーカス調整速度, IRIS速度などのPTZ詳細設定
- 自動フォーカス, 自動アイリス機能は一部 PTZ カメラと互換性がありません。

5.1.4 モーション

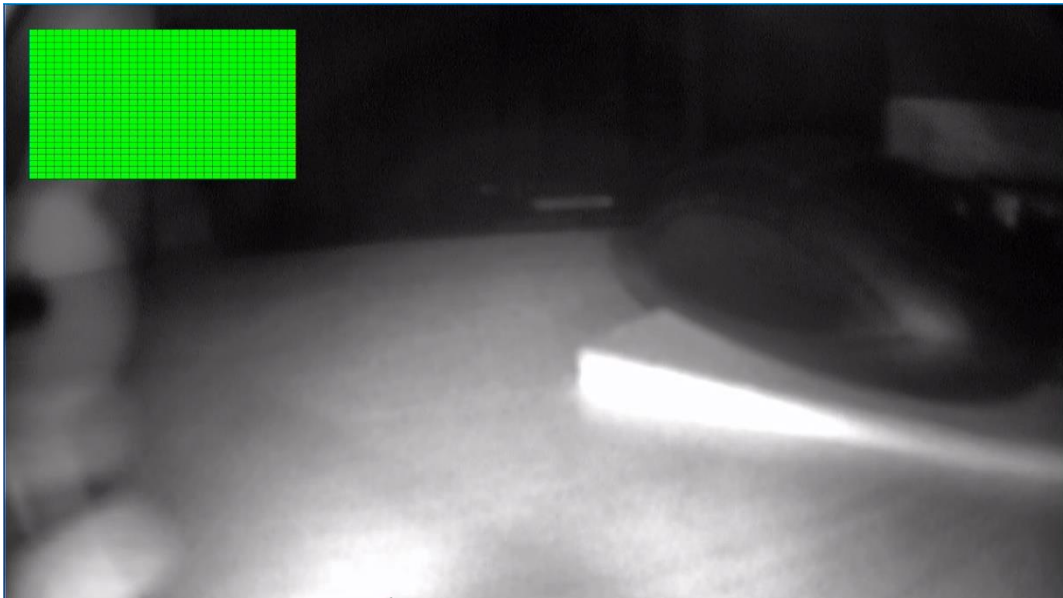
モーション領域及び感度設定の変更。



感度: 1 ~ 10まで選択可能。値が大きいほどモーション検知感度が高い。

- 感度 1: 動き検知感度が鈍感
- 感度10: 動き検知感度が敏感

領域設定: モーション検知する領域を選択。32x24で領域設定可能。



- 領域設定ボタンをクリックすると上記のような領域設定メニューに入る。
- マウス左クリックを押したままマウスを動かし領域を設定。
- 青色で選択された領域がモーション動作を検知する領域。
- 領域設定した範囲に動きが検知されるとモーション検知を画面で確認できる。
- 多数の領域を指定可能。




- 全体選択: チャンネルの全体画面をモーション領域で指定する。
- 全体解除: チャンネルの全体画面をモーション領域から削除する。
- 保存後終了: 設定した領域を保存した後、メニューを閉じる。
- キャンセル: 選択した領域設定をキャンセルする。

5.1.5 プライバシー設定

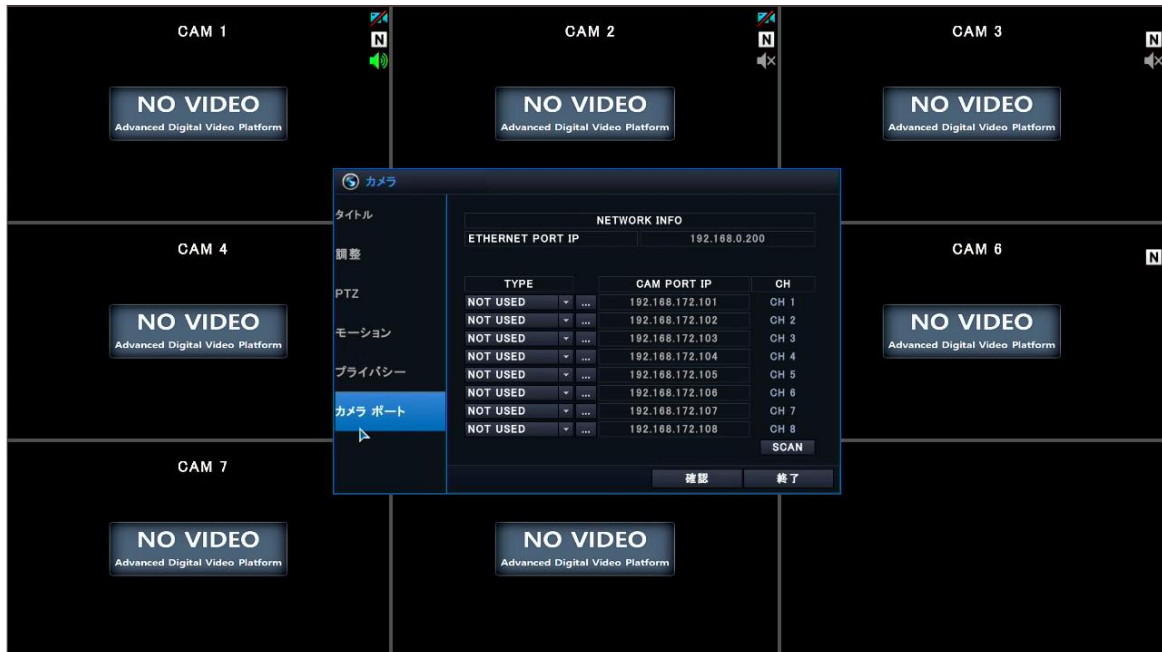
カメラの映像の一部を隠すことが可能です。



 エリア設定 : カメラの映像の中で隠すエリアを設定します。

5.1.6 カメラポート

DVRのカメラポートに接続するIPカメラに関する設定です。DVRにIPカメラを接続する前にネットワークメニューのIP設定とローカルポートの設定を環境に合わせて設定してください。



➤ **MANUAL** : ネットワーク上にあるIPカメラを接続する際に設定します。


- ✓ 手動でIPカメラを接続する場合、イーサネットまたはローカルポートを選択して接続することができます。
- ✓ イーサネット: イーサネットポートに接続する場合、'イーサネット'を選択します。
- ✓ ローカル: ローカルポートに接続する場合、'ローカル'を選択します。
- ✓ 取り消し : マニュアル接続をキャンセルします。



● 手動で接続の際、Frame と GOP はいつも同一に設定しなければなりません。

➤ **RTSP URL**: RTSPプロトコルでカメラを接続する際に設定します。

● RTSP に接続の際、ビデオ映像だけを持ってくるので、モーション/アラームなどの機能を使用できません。

● RTSP に接続の際、Frame と GOP はいつも同一に設定してください。

● 接続した IP カメラの ID とパスワードの設定値が基本値と違えば、"詳細な設定"  を用いて正しく指定してください。

 **詳細な設定** (): DVRに接続するIPカメラ情報を入力できます。IPカメラの基本設定値が自動で入力されています。

● DVR に接続する IP カメラの IP アドレス/RTSP ポート / HTTP ポート / HTTP 形式/ID /パスワードが初期値ではない場合、DVR の設定を変更してください。

EDR-MV Series Instruction Manual



- IPアドレス : DVRに接続するIPカメラのIPアドレスを入力します。

基本値: 4チャンネル: 192.168.1.201 ~ 204 / 16チャンネル: 192.168.1.201 ~ 216

- RTSPポート : DVRに接続するIPカメラのRTSPポートを入力します。基本値 : 554

- RTSPポートの設定値がIPカメラと異なる場合、下記のようなメッセージが画面に表示されます。



- HTTPポート: DVRに接続するIPカメラのHTTPポートを入力します。基本値 : 80

- HTTPポートの設定値がIPカメラと異なる場合、下記のようなメッセージが画面に表示されます。



- HTTP形式 : DVRに接続するIPカメラのHTTP形式を指定します。基本値 : HTTP
- ユーザーID : DVRに接続するIPカメラのユーザーIDを入力します。基本値 : admin
- パスワード : DVRに接続するIPカメラのユーザーパスワードを入力します。

基本値 : Onvif カメラの初期パスワード

EDR-MV Series Instruction Manual

- DVR につなげようとする IP カメラの情報が一致しないと、ライブ監視および録画ができません。
 - モデル : DVRからサポートするIPカメラのモデルを表示します。
 - Cfg. ENABLE : ONにすると手動で接続したカメラの録画 / カラー設定を録画機で設定できます。

🌐 スキャン : 接続されたネットワークからサポートする IP カメラを検索します。



- ネットワーク上にある IP カメラを接続する際に使用し、IP カメラ接続形式が手動の時、使用します。
 - モデル : ネットワーク上にある検索されたIPカメラを表示します。
 - MAC : ネットワーク上にある検索されたIPカメラのMACアドレスを表示します。
 - IP : ネットワーク上にある検索されたIPカメラのIPアドレスを表示します。
 - CH : NVRに接続されたIPカメラのチャンネルを表示します。
 - CHマッピング: ネットワーク上にある検索されたIPカメラをNVRチャンネルに割り当てることができます。
- CH マッピングをして NVR に IP カメラを接続する時は必ず NVR の接続しようとする Network ポート(イーサネットポート又はローカルポート)と IP カメラの IP アドレスが同じセグメントに位置しなければならないです。
 - **割り当てる** : Scan完了されたIP CameraをScan Listから選択してNVRに希望のチャンネルに割り当てる。
 - **CH 01** : NVRに 割り当てる チャンネルを選択する。
 - **スキャン** : SCANを実行する。
 - **ONVIF** : ONVIF ProtocolでSCANする。

5.2 画面設定メニュー設定









画面上の表示情報、画面出力と関連ある設定を変更できます。



5.2.1 OSD

本体の表示関連情報の設定変更。カメラタイトル / 境界線色 / 言語などを設定。



-  ツールバー表示時間：リアルタイム監視画面上で下に表示されるステータスバーの表示時間を設定。
-  時間表示：再生画面の時間表示のON/OFF。
-  カメラタイトル表示：カメラメニュー上で設定されたチャンネルタイトルの表示のON/OFF。
-  録画状態アイコン表示：録画ON/OFF 及び録画モード(連続録画、イベント録画など)を知らせるアイコンの表示のON/OFF。
-  境界線：分割画面表示のとき、カメラとカメラ間の境界線色の選択。
-  境界線色：境界線を表示する場合、境界線の表示色の選択。
-  イベントアイコン表示：動き検知、センサー、ビデオロスなどのイベントを表示するアイコンの表示ON/OFF。
-  言語：システム言語を設定。最初は日本語に設定されています。
 - サポート言語：英語 / 韓国語 / ドイツ語 / ポランド語 / 日本語 / 中国語 / ロシア語5

5.2.2 モニター設定

本体の出力解像度 / ポップアップ動作 などを変更できます。



- ✚ アラームポップアップモード：アラーム(センサー入力)が発生したチャンネルに対し単一画面表示モードでポップアップ映像の表示ON/OFFを設定。
- ✚ アラームポップアップ保持時間：アラームポップアップモードを使用する場合、単一画面表示モードに移動後その状態を維持する時間を設定。継続的にアラームが発生した場合はポップアップした状態を継続維持する。
- ✚ モーションポップアップモード：動きを検知するチャンネルに対し単一画面表示モードに移動し映像表示ON/OFF。
- ✚ モーションポップアップ保持時間：モーションポップアップモードを使用する場合、一画面表示モードに移動し、その状態を維持する時間を指定。そのチャンネルで連続的に動きが検知される場合、画面は状態を維持する。
- ✚ メイン映像出力解像度：デジタル映像出力とVGAで出力される映像の解像度を決定。1024x768 / 1280x1024 / 720P / 1080P / 2560x1440 / 3840x2160 中から選択可能で、使用者が使用するモニターに最適化された解像度を設定する。OK ボタンを押すと変更された設定が適用される。
 - モニターが HD 解像度をサポートしない場合は、本体の解像度を VGA 解像度に変更し使用してください。
 - 720p / 1080p 解像度を VGA ケーブルを使用して接続する際には VGA ケーブルを接続してから 本体の電源を ON にしてください。
 - 工場出荷解像度値は 1920x1080 なので 1920x1080 の解像度をサポートするモニターが必要です。

解像度	水平 (KHz)	垂直 (Hz)
1024x768	48	60
1280x720	45	60
1280x1024	63	59
1920x1080	68	60

- ✚ LIVE PIP CHANNEL：再生するときライブのカメラ映像を表示するチャンネルを選択します。

5.2.3 シーケンス

自動シーケンシャルの時間の設定



🌈 シーケンス保持時間：各チャンネルの出力を保持する時間の設定。設定した時間が過ぎると次のチャンネルへ移動します。

🌈 スポット保持時間：スポットの出力を保持する時間を設定。

5.2.4 スポット

スポットモニター出力の映像をシングル画面または分割画面で設定できます。



🌈 スポットマスク：スポット出力のチャンネルを隠すことが可能です。

🌈 スポット動作モード：スポット出力画面のシングル画面または分割モードを選択できます。

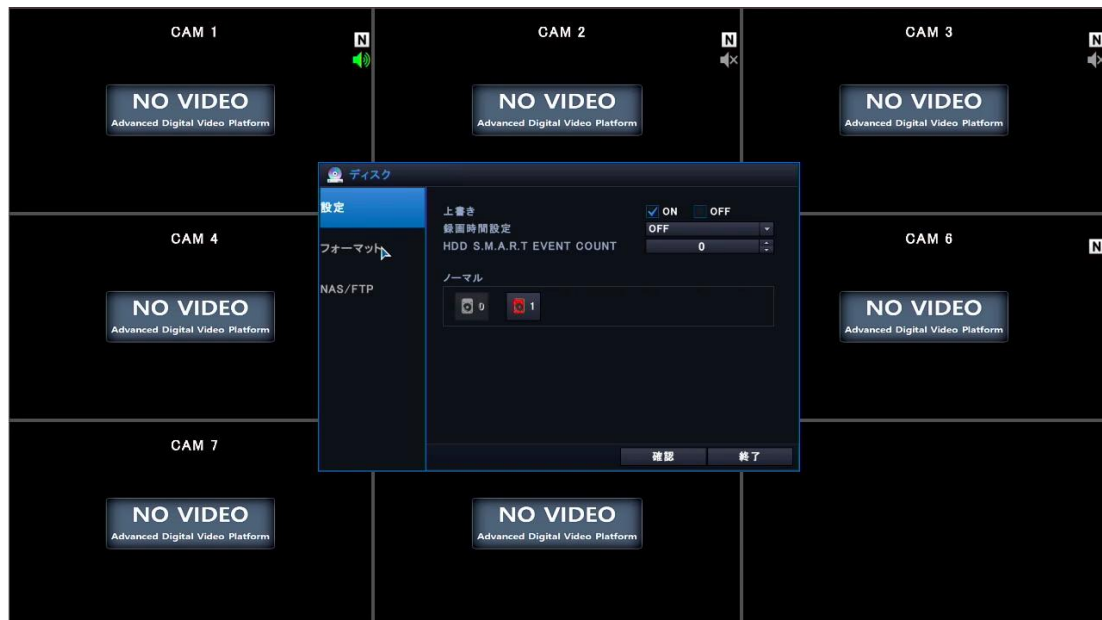
- 🌈 シングル出力モード：スポット動作モードをシングルにした時、DVRの起動後の表示チャンネルを設定します。
- 🌈 4マルチモード：スポット動作モードを分割にした時にDVRの起動後の表示画面を選択できます。
- 🌈 9マルチモード：スポット動作モードを分割にした時にDVRの起動後の表示画面を選択できます。
(8CH / 16CH DVRのみ)

5.3 ディスク設定

保存装置に関連した設定。



5.3.1 設定

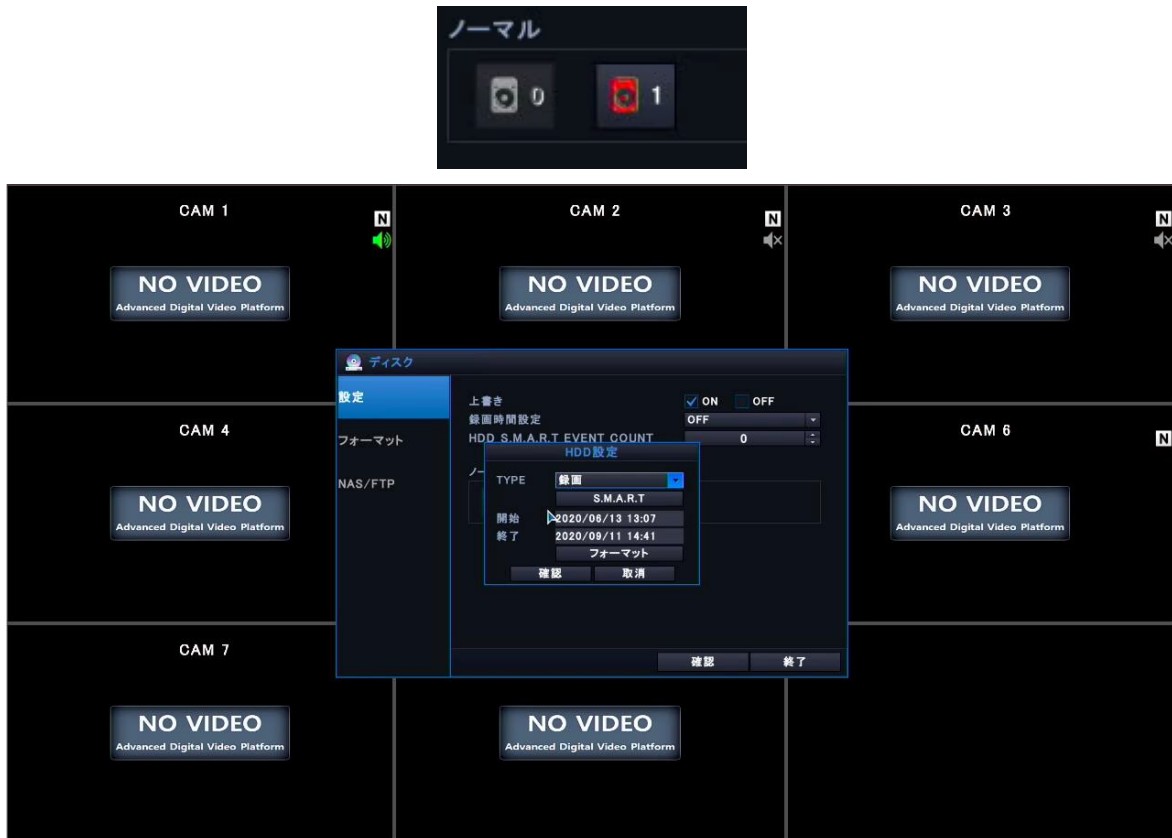


- 🌈 上書き：HDDが録画データで一杯になった場合、古いデータを削除して新しいデータを保存するモード。
- 🌈 録画時間設定：録画されている映像の保存期限を指定する。(12時間 ~ 2ヶ月)
- 🌈 HDD S.M.A.R.T EVENT COUNT：HDDの S.M.A.R.T エラーが発生した時、エラーを感知する基準値を設定。
 - Reallocated sector count：不良セクター
 - Current pending sector count：代替処理待機セクター数
 - Uncorrectable sector count：回復不可能なセクター数
 - 3ヶ所RAW 合計（1-99:任意設定）になった場合、SMARTエラーのシステムログを記録。設定値以上になった場合、イベント出力する。

EDR-MV Series Instruction Manual

- Spinup retry count : カウントされた場合、SMART エラーシステムログを記録

録画HDD設定: 本体に接続されているHDDを録画モードまたはミラーモードに設定する。赤色で表示されているHDDアイコンを押すとHDDの動作設定及びS.M.A.R.T情報を表示する。



- 録画: 選択したHDDを録画モードで使用する。
- ミラー: 選択したHDDをミラーリングモードで使用する。
- ミラーリング動作設定方法
- ミラーリング動作を使うためには最低2台の HDD が必要です。
- ミラーリング動作に使用可能な HDD は、互換性 Listを参照ください。
- 1) 2つのHDDを装着後、録画で使用するHDDを選択しHDD TYPEを録画に設定する。



- 2) 2つのHDDを装着後、ミラーリングで使用するHDDを選択しHDD TYPEをミラーリングに設定する。

EDR-MV Series Instruction Manual



- 設定を保存して録画メニューへ移動する。
- 録画メニューのその他設定へ移動する。
- ミラーリング設定をONにする。
- ミラーリングタイプを「全て」または「イベント」に設定する。
 - ✓ 全て : 録画HDDに記録されるデータをミラーリング HDDへも記録する。
 - ✓ イベント : 録画HDDの動作に関係なくイベントが発生した時のデータをミラーリングHDDに記録する。
- ミラーリングHDDに記録するチャンネルを選択する。
 - ✓ 録画HDDに関係なく、選択したチャンネルのみミラーリング HDDに記録する。



🌈 S.M.A.R.T : 該当するHDD のS.M.A.R.T 情報及び状態を確認できる。

EDR-MV Series Instruction Manual

HDD S.M.A.R.T					
HDD 3 S.M.A.R.T RESULT		GOOD			
ENTRY	CURRENT	WORST	RAW	TYPE	UPDATE
RAW READ ERROR RATE	100	253	0	Pre-fail	Always
SPINUP TIME	191	189	5408	Pre-fail	Always
START/STOP COUNT	100	100	21	Old-age	Always
REALLOCATED SECTOR COUNT	200	200	0	Pre-fail	Always
SEEK ERROR RATE	100	253	0	Old-age	Always
POWER-ON HOURS COUNT	100	100	75	Old-age	Always
SPINUP RETRY COUNT	100	253	0	Old-age	Always
CALIBRATION RETRY COUNT	100	253	0	Old-age	Always
POWER CYCLE COUNT	100	100	21	Old-age	Always
POWER-OFF RETRACT COUNT	200	200	19	Old-age	Always
LOAD/UNLOAD CYCLE COUNT	200	200	48	Old-age	Always
HDA TEMPERATURE	115	110	35	Old-age	Always
REALLOCATION COUNT	200	200	0	Old-age	Always
CURRENT PENDING SECTOR C...	200	200	0	Old-age	Always
UNCORRECTABLE SECTOR CO...	100	253	0	Old-age	Offline
UDMA CRC ERROR RATE	200	200	0	Old-age	Always
WRITE ERROR RATE	100	253	0	Old-age	Offline

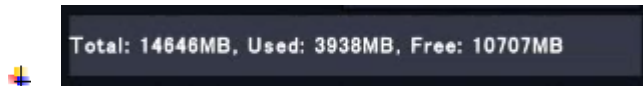
- GOOD: HDDの S.M.A.R.T 診断機能による結果が良好なことを意味する。
- BAD: HDDの S.M.A.R.T 診断機能による結果が良くないことを意味する。

● HDD の S.M.A.R.T 情報は HDD によりサポートしない場合もあります。

5.3.2 フォーマット



- 🔗 HDD タイプ: 初期化する HDDを選択する。
- 録画: 録画HDDを初期化する。
- ミラーリング: ミラーリングHDDを初期化する。
- HDD フォーマットにかかる時間は容量により異なります。



- USB デバイスの合計容量と使用可能な容量を表示します
- USBデバイス: 本体でフォーマットするUSBメモリーの接続を選択する。
 - USB メモリー及び外付け HDD のフォーマットが可能。
 - フォーマットすると全てのデータが削除されるので注意してください。

5.3.3 NAS/FTP※当社では非サポートとさせて頂いております。

5.4 システムメニュー設定

本体の詳細機能などを設定。



5.4.1 日付 / 時間

- 日付 / 時間: 録画機の時計を設定する。

- 日付 / 時間を変更したあとは必ず(適用)をクリックし適用してください。
- 日付 / 時間を設定するとき、時間が重複して設定された場合、録画データの誤りが生じることがあります。

EDR-MV Series Instruction Manual

- ✚ 日付表示形式: 日付表示形式を設定する。
 - YYYY/MM/DD(年/月/日) , MM/DD/YYYY(月/日/年), DD/MM/YYYY(日/月/年)
- ✚ 時間表示形式: 時間表示形式を設定する。
 - 24 Hour(24 時間) , AM/PM
- ✚ タイムサーバー: DVRがネットワークに接続されている場合、時間の同期に使用するNTPサーバーを設定する。
- ✚ 自動同期 : 時間同期機能を使用する場合、同期する周期を設定する。
- ✚ タイムゾーン設定: 本体が設置されている地域のタイムゾーンを設定する。
 - タイムゾーン設定時、同一時間があるとデータの誤りが生じることがあります。
- ✚ D.S.T: ON設定時サマータイムが適用され、設定されている期間の間、時間が1時間早くなります。期間が過ぎると元に戻ります。
 - 開始: D.S.Tの開始時間
 - 終了: D.S.Tの終了時間

5.4.2 管理

録画機のシステム情報 / ファームウェアアップグレードなどを行う。



- ✚ システム情報: '情報' ボタンを押すと下記のようなシステム詳細情報が確認できます。

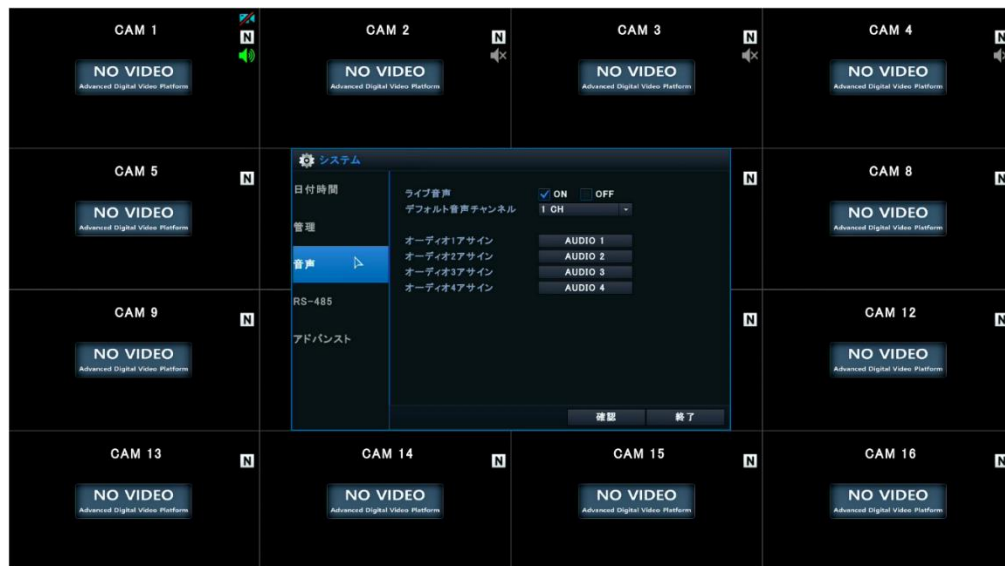
EDR-MV Series Instruction Manual



- ファームウェアバージョン: 本体のファームウェアのバージョンを表示する。
 - ハードウェアバージョン: 本体のハードウェアバージョンを表示する。
 - UI バージョン: 本体のユーザーインターフェイス(UI)のバージョンを表示する。
 - ビデオ信号方式: 本体が動作している信号方式を表示する。(NTSC/PAL)
 - HDD: 本体に内蔵されているHDDの全体容量とモデル番号を表示する。
 - IPアドレス: 本体のイーサネットポートIPアドレスを表示する。
 - MAC アドレス: MAC アドレスが表示される。
 - DDNS サーバーアドレス: DDNS(Dynamic Domain Name Service)を使用する場合、該当サーバーが表示される。
 - DVRサービスポート: 本体のネットワークが使用するポート番号
 - ウェブサービスポート: 内蔵ウェブサーバーが使用するポート番号
 - ファンステータス: 本体の冷却ファン回転速度(RPM)を表示する。
- 冷却ファン回転速度が一定以下に下がると警報音が発生する。
- 🌈 システム名称: e-m a i l 及び本体で装置を区別するための名前として使用され、最大15文字まで指定可能。
- 🌈 F/W アップグレード: 新しいファームウェアにアップグレードするときに使用する。
- 🌈 工場出荷時設定: 設定を工場出荷地に戻す。
- 🌈 システム設定、ログ: 設定内容やログをUSBメモリーへ保存や、保存した内容を本体に読み込みます。
- 注意) 1 6チャンネル録画機: 前面部の USB ポートを使用する。

- 🌈 ビデオ信号方式：カメラの信号方式、日本はNTSC。
 - ビデオ信号方式を変更する際には本体の電源を ON/OFF する。
- 🌈 オートログイン：本体のログイン動作を自動/手動で設定する。自動ログイン動作をONにすると、最初の起動時に自動で管理者パスワードでログインする。自動ログイン動作をOFFにすると、最初に起動するときパスワードを入力する必要がある。
- 🌈 パスワード有効期限：録画機のセキュリティのため、パスワードを90日ごとに変更するように設定します。
 - ON：パスワード設定から90日経過した後、録画機起動時にパスワード変更するよう通知を表示します。
 - OFF：パスワード有効期間の設定をOFFします。
- 🌈 FAN チェック：FANが故障になった場合、FANの故障感知をON/OFFできます。
 - ✓ ON：FANの故障時、故障を感知して録画機でアラーム表示及び ブザー 音発生。
 - ✓ OFF：FAN故障時の録画機で感知しない。

5.4.3 音声



- 🌈 ライブ音声：入力される音声をリアルタイム監視画面に出力する設定。
- 🌈 デフォルト音声チャンネル：起動時、最初に出力する音声チャンネルを設定する。
- 🌈 ボタン動作音：リモコンまたは前面部のボタン使用時、ブザー音の指定。
- 🌈 オーディオ1アサイン：オーディオ1に接続された音声を録音するチャンネルの設定。
- 🌈 オーディオ2アサイン：オーディオ2に接続された音声を録音するチャンネルの設定。
- 🌈 オーディオ3アサイン：オーディオ3に接続された音声を録音するチャンネルの設定。
- 🌈 オーディオ4アサイン：オーディオ4に接続された音声を録音するチャンネルの設定。

5.4.4 RS-485

- ✚ SYSTEM ID : RS-485へ接続するデバイスのIDを設定します。
- ✚ BAUD RATE : RS-485へ接続するデバイスのBAUD RATEを設定します。
- ✚ DATA BIT : RS-485へ接続するデバイスのDATA BITを設定します。
- ✚ PARITY BIT : RS-485へ接続するデバイスのPARITY BITを設定します。



STOP BIT : RS-485へ接続するデバイスのSTOP BITを設定します。

5.5 アドバンスト

録画機の付加機能設定



- ✚ 自動再起動其間：録画機を一定周期毎に自動再起動するように設定する。
 - OFF：自動リブート機能 OFF
 - 毎日：毎日23:59:59秒にReboot実施
 - 毎週:毎週土曜日23:59:59秒にReboot実施
 - 毎月:毎月最終日23:59:59秒にRebootを実施
- ✚ CVI 入力：チャンネル毎にCVIカメラの入力をサポートするかどうかを設定します。
 - ON：CVI カメラ入力時に認識するように設定します。
 - OFF：CVI カメラ入力時に認識しないように設定します。
 - CVI カメラの入力を ON にする場合、一部のカメラ映像が正常に表示されないことがあります。
- ✚ DE-INTERLACED MODE：De-Interlacedは一度に一つのフレームを表示する装置のために、インターレースで撮影された画面を強制的にプログレッシブに似た画面にする作業を言います。
 - De-Interlaced ON：設定した後、録画データのフレームがダブって見えるような現象を改善して録画されます。（動きのない映像を録画する際、違いを確認するのは難しいです。）
 - De-Interlaced 効果を与えて録画すると、くし目模様の現象を減少させることができます。
 - D1 級カメラを使用しない場合は De-Interlaced を OFF に設定し、D1 級カメラを使用する場合は De-Interlaced を ON に設定して録画することをお勧めします。
 - 但し、De-Interlaced ON 設定時には CPU の性能がより多く使用されるため、AHD/TVI などのアナログ HD 級カメラ使用時は OFF を使用することをお勧めします。
- ✚ SELF-DIAGNOSIS ACTIVATION：録画機の基本状態情報を収集して表示します。

5.6 イベント / センサー

アラーム入出力、ブザー出力、イベントに関する動作などを設定する。



5.6.1 センサー入力



センサー入力端子からのアラーム入力に対し動作条件を設定する。

🌈 動作：該当チャネルのアラーム入力検知の設定。

- 未使用：該当チャネルのアラーム入力を使用しない。
- 使用：該当チャネルのアラーム入力を使用する。

🌈 タイプ：使用するアラーム入力信号の仕様を設定する。

- N/O：Normal Openの略で、通常は信号がオープン状態。アラームが発生した場合、クローズになる形式の場合使用する。
- N/C：Normal Closeの略で、通常は信号がクローズ状態。アラームが発生した場合、オープンになる形式の場合使用する。

🌈 テキスト：センサーからアラームが検知された場合、映像チャネルのタイトルに表示する名前を設定する。

🌈 CHANNEL MAPPING：DVRに入力されるセンサーとチャンネルを連動して使用できます。



5.6.2 アラーム出力



アラーム出力（リレー出力）に関連した設定。

アラーム出力：出力するリレーを選択する。

🌈 動作：選択されたリレー出力を設定する。

- 未使用：選択されたリレーを使用しない。
- 使用：選択されたリレーを使用する。

EDR-MV Series Instruction Manual

- ✚ 出力方式: リレー出力の動作方式を設定する。
 - すぐに終了: アラームを発生させたイベントが継続される間だけアラームを出力する方式。
 - 持続時間維持: アラームを発生させたイベントがなくなった時点から設定時間維持した後にアラームを解除する方式。
 - ✚ 時間: '出力方式'が持続時間維持モードの場合に適用する持続時間の設定。
 - ✚ タイプ: リレー出力の動作方式を設定します。
 - N/O: Normal Openの略で、通常は信号がオープン状態だが、アラームが発生した場合、クローズになる形式の場合使用する。
 - N/C: Normal Closeの略で、通常は信号がクローズ状態だが、アラームが発生した場合、オープンになる形式の場合使用する。
 - ✚ HDD イベント: HDDと関連したイベントが発生した場合、アラーム出力を設定する。
 - ✚ ADVANCED CONFIGURATION : リレー出力に使用するイベントを選択します。
- Fan停止 / HDD S.M.A.R.T /録画停止についてリレー出力を設定します。



- ✚ センサー: 入力センサーが検知された場合のアラーム出力を設定。
- ✚ ビデオロス: ビデオロスが発生した場合のアラーム出力を各チャンネル別に設定。
- ✚ モーション: 映像の動きが検知された場合のアラーム出力を設定。

5.6.3 ブザー出力設定

ブザー音が発生する動作を設定する。



🔗 動作：イベント発生時の設定。

- 未使用 ブザー音が鳴らない。
- 使用：イベント発生時ブザー音が鳴る。

🔗 HDD イベント：HDDと関連あるイベントが発生した場合のブザー音の設定。

🔗 出力方式：ブザー音の動作方式を設定する。

- すぐに終了：アラームを発生させた原因が継続されている間だけブザー音を出力する方式。
- 持続時間維持：アラームを発生させた原因がなくなった時点から設定時間後にブザー音を解除する方式。

🔗 時間：出力方式が‘持続時間維持’動作モードの場合適用する保持時間。

🔗 センサー：入力センサーが検知された場合のブザー出力を設定。

🔗 ビデオロス：ビデオロスが発生した場合のブザー出力を各チャンネル別に設定。

🔗 モーション：映像の動きが検知された場合のブザー出力を設定。

5.6.4 Eメール設定

イベント発生時使用者設定で登録されているEメールアドレスへ転送する機能と関連する設定。



- 通知: 各イベント発生時Eメールを使用するかしないか設定する。
- 設定変更: メニュー設定が変更された場合Eメールを送信するかを選択する。
- HDDイベント: HDDと関連あるイベント発生時、Eメールを送信するかを設定する。
- 再起動: 録画機がリブートした場合、Eメールを送信するかを設定する。
- センサー: 入力センサーが検知された場合の設定。
- ビデオロス: ビデオロスが発生した場合各チャンネル別に設定。
- モーション: 映像の動きが検知された場合の設定。
- 頻度: Eメールを送信する周期の設定。(連続的に送信されるEメールを迷惑メールとして処理されることの防止。)

5.6.5 PTZ連携動作

PTZカメラを使用するとき、各チャンネルに発生するイベントにより、設定していたプリセット位置へ移動する。

- PTZ 連携動作を使用するためには、カメラのプリセットが先に登録されていなければならない。



- 🌈 PTZカメラ: 移動するカメラを選択する。
- 🌈 動作: PTZ連携動作を選択する。
- 🌈 センサー: センサー入力時、移動するプリセット番号を選択する。

☒: アラーム発生時、PTZカメラをプリセット移動させる。

: アラーム発生時、移動するプリセット番号を選択する。

- 🌈 ビデオロス: 移動させるプリセット番号を選択する。

☒: ビデオロス発生時、PTZカメラをプリセット移動させる。

: ビデオロス発生時、移動するプリセット番号を選択する。

- 🌈 モーション: 移動させるプリセット番号を選択する。

☒: モーション発生時PTZカメラをプリセット移動させる。

: モーション発生時、移動するプリセット番号を選択する。

5.6.6 プッシュアラーム

モバイルアプリで伝送されるプッシュアラームイベントタイプを選択します。



- 🚦 センサー：センサー発生時、プッシュアラーム発生
- 🚦 ビデオロス：ビデオロス時、プッシュアラーム発生
- 🚦 モーション：モーション発生時、プッシュアラーム発生
- 🚦 開始時間、終了時間：プッシュアラームが送信される時間を設定する。

5.6.7 POS

POS機器から受信したPOSデータでカメラからビデオを録画します。POSデータに対するサポートは、無視コード、マスクコード、イベントコードで設定でき、POSデータと一緒にイベントで検索・再生することもできます。



EDR-MV Series Instruction Manual

- ✚ Ignore code : データを無視してデータを表示せずにスキップします。
- ✚ マスクコード: マスクコードの設定が出たら、マスクコードからPOSデータの最後まで*****を表示します。
 - 例) マスクコード: 1 POS データ: TEST12345。
ディスプレイ: TEST*****。
- ✚ イベントコード: イベントコードとして登録された場合、POSデータと同一の場合、リレー出力、ブザー出力、Eメール、プッシュアラームが発生します。
- ✚ POS 表示: POSデータの表示位置を設定します。
 - ・ なし: POSデータを表示しません。
 - ・ 常に: 削除せずに継続的にPOSデータを表示します。
 - ・ 30 秒 ~ 10 分: 表示された時間を表示した後、削除します。
- ✚ POS ポート設定: POSポートに対するチャンネル設定と詳細設定。



- ✚ チャンネル割り当て: POSデータと一緒に使用するチャンネルを選択します。
- ✚ センサー入力、ブザー、Eメール、プッシュアラーム: 該当イベントコードを選択すると、DVRのセンサー入力が活性化します。
- ✚ 取引開始コード、終了コードを入力します。
- ✚ 受信POSデータの転送速度、データビット、パリティビット、停止ビット、ライン分割入力
 - POS System 運用のためには、メーカーとの互換性を検討する必要があります。

5.7 ユーザー

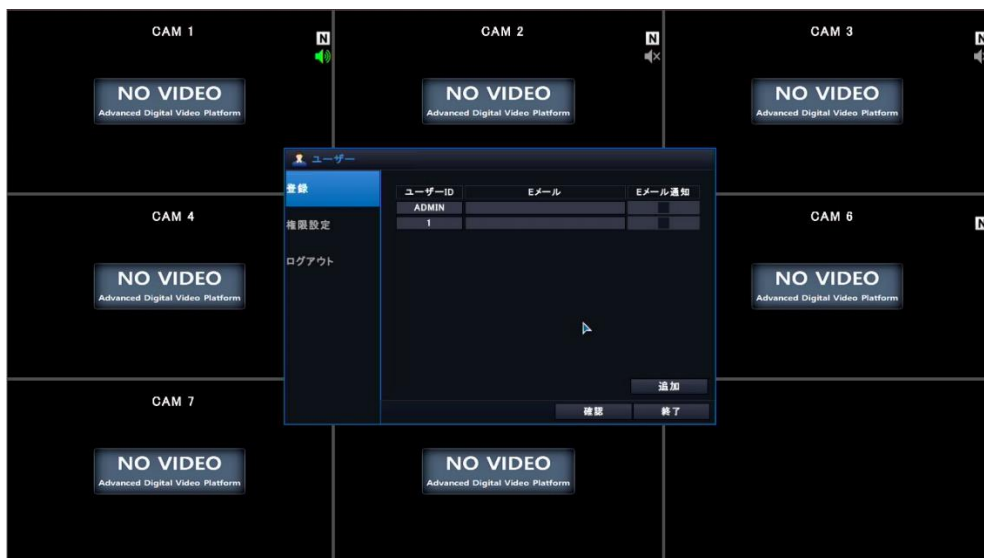
新規のIDを追加したり、権限、パスワードの変更、Eメールアドレスの登録などの作業を行う。



5.7.1 ユーザー登録

工場出荷時にADMINで登録されているパスワードは'1234'です。

ユーザー登録メニューから、最大10個のユーザーIDの登録が可能です。

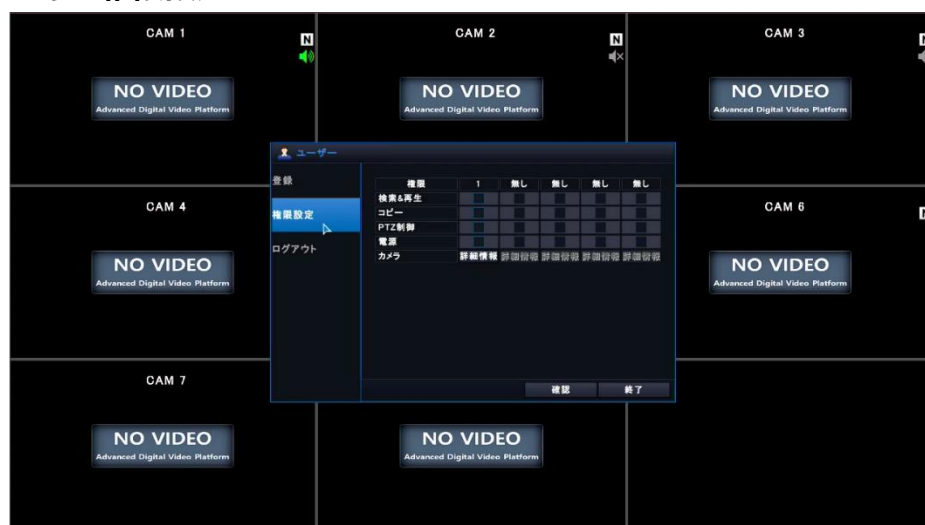


追加ボタンかユーザーIDを選択すると下記のようなユーザーIDを追加、削除、編集出来る画面が表示されます。

ユーザーID	ADMIN
パスワード	*****
Eメール	
Eメール送信	<input type="checkbox"/> ON <input checked="" type="checkbox"/> OFF
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="取消"/>	

- 🚦 ユーザーID: パーチャルキーボードから英/数字で10文字以下のユーザー名を入力できます。
- 🚦 パスワード: ユーザーIDのパスワードを入力します。
 - 🔴 パーチャルキーボード上の“削除”ボタンを利用し以前設定されていたパスワードを削除できます。
- Eメール: Eメールお知らせ機能を使用する場合、受信するユーザーのメールアドレスを入力します。
- 🚦 Eメール送信: 機器から発生するイベントに対しEメールお知らせを設定する。

5.7.2 ユーザー権限設定



ADMIN(管理者) ID以外の各ユーザーIDに対しての使用権限を設定。

- 🌈 検索 & 再生: 検索及び再生権限設定
- 🌈 コピー: コピー機能権限設定
- 🌈 PTZ制御: PTZカメラ制御の権限設定
- 🌈 電源OFF: 録画機の背面部のスイッチを利用した電源OFF権限設定
- 🌈 カメラ: カメラ映像の閲覧権限設定

➤ 詳細設定: ユーザーID によりチャンネルごとの映像を閲覧出来る権限を設定。

5.7.3 ログアウト



- 🌈 自動ログアウト: 自動ログアウト機能の設定。
- 🌈 時間: 自動ログアウト使用時のログアウト待機時間(1 ～10分)

5.8 録画

録画関連の設定。



5.8.1 設定

録画機の録画条件、録画解像度/フレーム/画質などを設定する。



🎨 サイズ：録画するカメラの解像度を設定。

- サポート解像度：CIF / HD / FullHD / 3MP / 4MP

🎨 FPS：録画する映像のフレーム数を設定。


- NTSC: 0/1/2/4/5/8/10/12/15/30 / PAL: 0/1/2/4/5/7/10/13/25

🎨 画質：録画する画質を設定。

- 0.5Mbps/ 1Mbps/ 1.5Mbps/ 2Mbps/ 2.5Mbps/ 3Mbps/ 4Mbps/ 5Mbps/ 6Mbps

※Mbpsは、1秒間に送受信するデータ量を表す単位となり、値が大きい程に画質が良くなります。

🎨 音声：音声の録音を設定する。

- ：音声の録音が設定されたチャネル。

- ：音声録音が設定されていないチャネル。

5.8.2 イベント

イベント発生時発生したチャンネルの録画フレーム / 画質 / 音声録音などを設定する。

- 解像度は設定した値で動作する。
- イベント発生時の録画は設定した値で動作する。
- 'イベント検知録画以降'設定時間動作後再度設定値に戻り録画動作する。



- 🌈 モーションイベント: モーションが発生したとき、録画するフレーム/ 画質を設定。
- 🌈 その他イベント: ビデオロス/ センサー入力が発生したとき、録画するフレーム/画質を 設定。

5.8.3 スケジュール

録画スケジュールを日単位または週単位で設定する。

- 日 : 一つのスケジュールを設定。毎日一つのスケジュールで録画動作する。
- 週 : 月曜日から日曜日まで 7 つのスケジュールを設定し、1 週間単位で 7 つのスケジュールで録画動作する。
- 録画日程を日単位か週単位で使用するかは録画メニューの「その他設定」項目で設定。

日単位設定:各チャンネル別に設定できます。曜日の区分なく同じ録画日程を使用する場合に使用する。

EDR-MV Series Instruction Manual

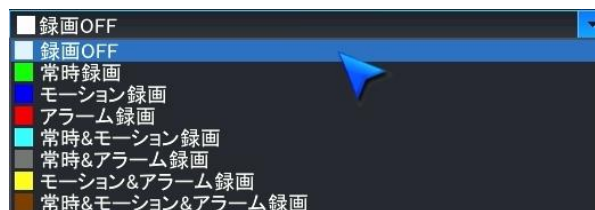


- ✚ 週単位設定: 各曜日別,チャンネル別,時間別録画のON/OFF、及び方式を設定する。曜日別に録画ON/OFF及び方式が異なるように設定する場合に使用する。



- 上記のボタンを押し1週間単位でスケジュール録画が設定できます。

- ✚ 録画形式: 下記の8つの録画構成の内、一つを各日程のチャンネル、時間別に設定できます。



- | | |
|-----------|-----------------------|
| ✓ 録画OFF | ✓ 連続 & モーション録画 |
| ✓ 連続録画 | ✓ 連続 & アラーム録画 |
| ✓ モーション録画 | ✓ モーション & アラーム録画 |
| ✓ アラーム録画 | ✓ 連続 & モーション & アラーム録画 |

- 録画方式を先に選択した後、マウスをクリックまたはドラグを利用しスケジュール時間表を変更、修正する。

5.8.4 その他設定



🚦 スケジュール設定：録画スケジュールを日単位で構成するか、週単位で構成するかを設定する。

- 毎日：1 日単位で設定
- 毎週：1 週間単位で設定。

🚦 プリイベント録画時間：イベントが発生する前の映像を録画する時間を設定する。例えば5秒に設定するとイベント発生5秒前の映像から録画される。

- 連続録画していないときに動作する。

🚦 ポストイベント録画時間：イベントが終了時点から設定された時間録画される。

- イベント発生がイベント検知以降、録画時間が終わる前に繰り返して発生すると、最後にイベントが発生したあと設定された設定時間イベント録画映像として録画される。

🚦 RECORD STOP EVENT：ユーザーが設定した期間録画されてない場合、イベント動作する。



のようなメッセージ表示後、ESC キー及びマウス左クリックにてメッセージを閉じることができます。

🚦 ミラーリング：ミラーリング録画設定

- ON：ミラーリング録画方式を選択した方式で動作する。
 - ✓ イベント：イベントが発生したときだけ、ミラーリング録画する。
 - ✓ 全て：全ての映像をミラーリング録画する。。
- OFF：ミラーリング動作をしない。

🚦 ミラーリングチャンネル選択

- 全て：全てのチャンネルをミラーリング録画方式により録画する。
- チャンネル 1 ～ 16：選択したチャンネルのみミラーリング録画する。

5.9 ネットワーク

ネットワーク動作のための各設定を行う。



5.9.1 IP 設定



IP 設定はサポートするPCソフトウェアまたはモバイルソフトウェアを使用する場合設定する。

- 🌈 DHCP: DHCPサーバーから、録画機のIPアドレスを自動で割当する機能の設定
- 🌈 DHCP更新 : ルーターから割り当てられたDHCPを周期的に再受け取りするように実行します。

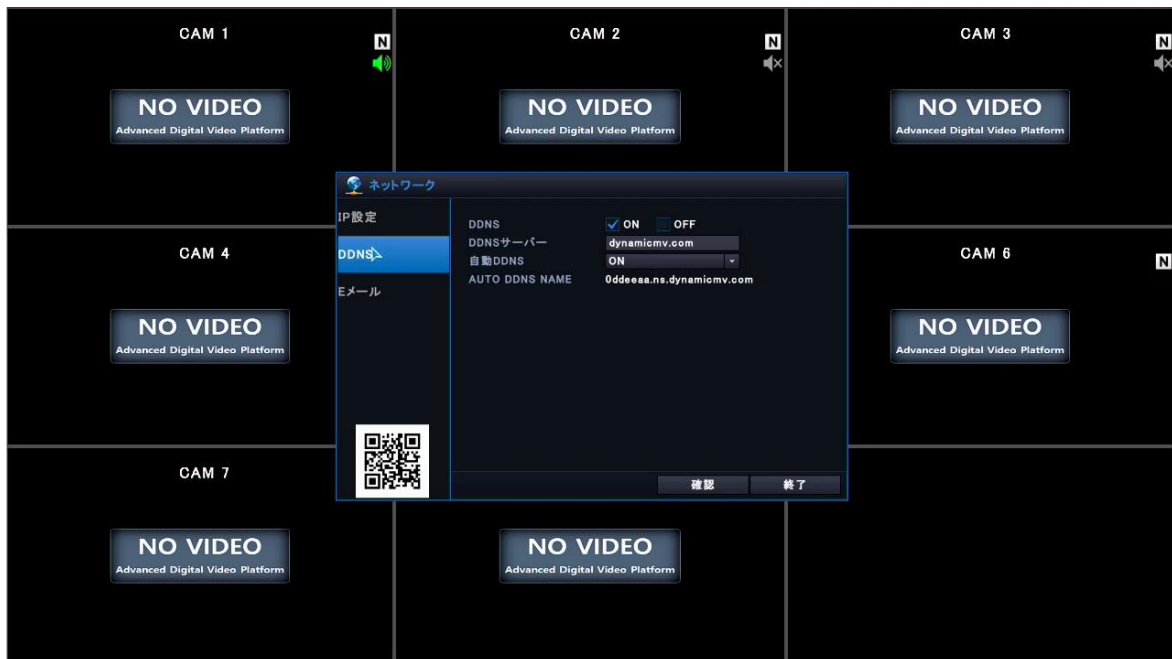
一部のルータで Network Device の DHCP 割り当てを長時間維持する場合、遮断する環境が発生することがあります。

- 🌈 IPアドレス: DHCPを使用しない場合、IPアドレスを設定する。
- 🌈 ゲートウェイ: DHCPを使用しない場合、ゲートウェイのIPアドレスを設定する。
- 🌈 サブネットマスク: DHCPを使用しない場合、サブネットマスクを設定する。。
- 🌈 DNSサーバー 1 : DHCPを使用しない場合、プライマリDNSサーバーのアドレスを設定する。
- 🌈 DNSサーバー 2 : DHCPを使用しない場合、セカンダリDNSサーバーのアドレスを設定する。
- 🌈 DVRポート: 本装置のネットワークサービスで使用するポート番号を設定する。

EDR-MV Series Instruction Manual

- ✚ ウェブサーバーポート：ウェブサーバーのポート番号を設定する。
 - ルーターを使用し、一台以上の機器を接続するときには、NVR サービスポートとウェブサービスポートは異なる設定をしなければなりません。
 - 同じ DVR に最大 7 台まで接続が可能です。
- ✚ 最大伝送速度：使用する最大帯域幅を設定する。
 - 注意) ルーターの Firewall 設定は適切である必要があります。
- ✚ NETWORK STREAM：Network clientで転送されるStreamを設定します。
 - Main Stream：録画機で録画されている設定通りNetworkに送信します。
 - Sub Stream：録画機のSub StreamをNetworkに伝送します。
 - Network 環境によってメイン Stream の転送データサイズが大きいため、遅く動作したり、料金が過剰に発生することがあります。
- ✚ QR CODE：モバイルアプリケーションで使用されるQRコードで簡単な接続情報。P2P接続の際、使用する。

5.9.2 DDNS



- ✚ DDNS：DDNS機能の使用を設定する。
- ✚ DDNSサーバー：DDNS機能使用のためのサーバーを設定する。
- ✚ 自動DDNS：自動DDNSの使用時、DDNSサーバーへ自動でDDNSを登録できます。

登録されるDDNSは数字 0 + 6桁MACアドレス+ ns,dynamicmv.com です。

Ex)DVR Mac：00:0A:2F:00:2C:C9 / DDNS Name：0002CC9.ns.dynamicmv.com

5.9.3 Eメール

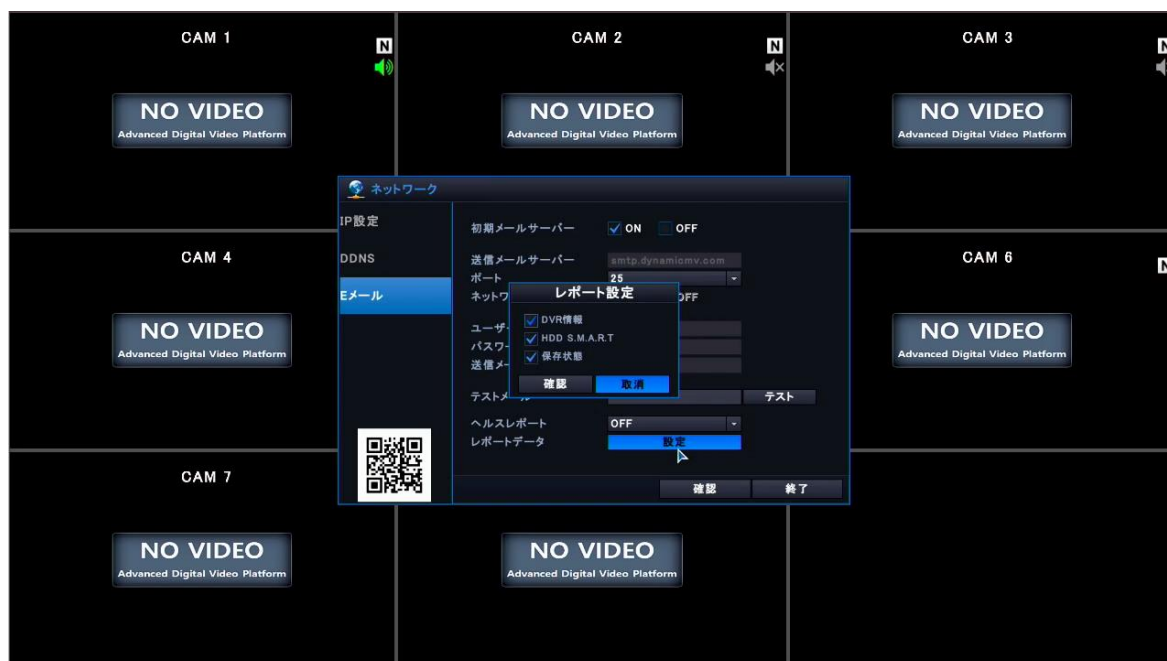


- ✚ 初期メールサーバー:メールサーバーの使用設定。
- ✚ 送信メールサーバー: 初期メールサーバーを使用しない場合、サーバー情報を設定する。
- ✚ ポート: 初期メールサーバーを使用しない場合、使用するポート番号を指定する。
- ✚ ネットワークセキュリティ: メールサーバーが使用者アカウントとパスワードを要求する場合はONに設定する。
- ✚ ユーザー: メールサーバーが要求する使用者アカウント。
- ✚ パスワード: メールサーバー使用者アカウントのパスワード。
- ✚ 送信メールアドレス: 送信先のメールアドレス。
- ✚ テストメール: テストメールを受けるアドレスを入力する。
- ✚ テスト: 設定情報が正しいか確認する機能。設定されている情報を利用し送信する。
 - メール機能を使用するためには使用者メニューとイベント/センサーメニューのメールメニューをそれぞれ設定してください。
- ✚ ヘルスレポート: DVRの情報とHDDのS.M.A.R.T情報、録画状態情報を登録したメールアドレスに送信する。

発信周期は毎日(00:00) / 毎週(日曜日00:00) / 毎月(月の最終日 00:00)に設定できます。

レポートデータ : ヘルスレポート 情報の選択ができます。

EDR-MV Series Instruction Manual



6. 付録

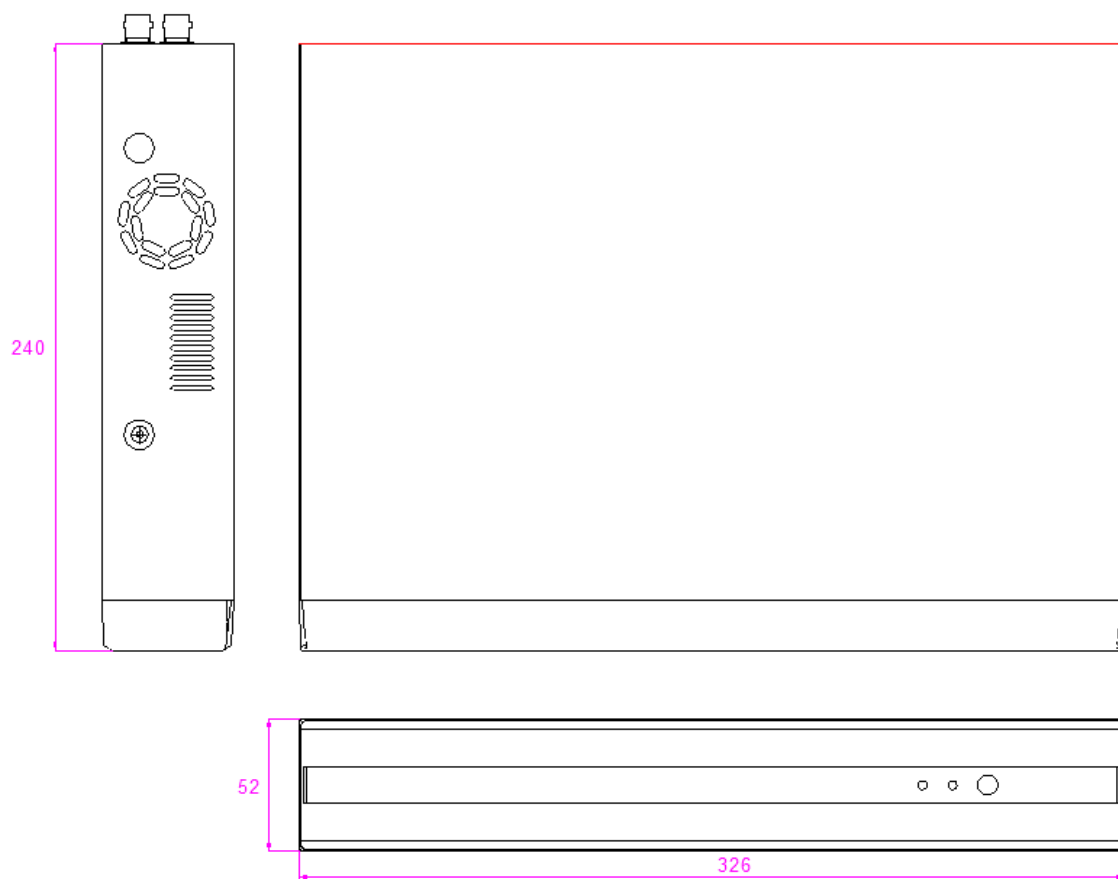
6.1 仕様

型番		EDR-MV41	EDR-MV81	EDR-MV161
圧縮方式		H.265		
ペンタプレックス機能		ライブ映像表示、録画、再生、バックアップ、遠隔監視の同時操作可能		
映像フォーマット		HD-TVI、アナログHD、CVBS		
IPカメラ接続		4※	8※	16※
映像	入力	4 (BNC)	8 (BNC)	16 (BNC)
	出力	2 (HDMI、VGA)		
		HDMI : 3840×2160、2560×1440、1920×1080、1280×1024、1280×720		
		VGA : 1920×1080、1280×1024、1280×720		
	スポット出力	1 (BNC/CVBS) : 720×480		
音声	入力	4 (RCA)		
	出力	2 (HDMI/RCA)		
I/F	USB	1 (フロントパネル)、1 (リアパネル)		
	RS485	1		
	LAN	1 (10/100Mbps)	1 (10/100/1000Mbps)	2 (10/100/1000Mbps)
	センサー入力	4	8	16
	リレー出力	1		
	内蔵SATA	HDD × 2台		
	CoC制御	有		
ライブ	画面分割数	1, 4	1, 4, 6, 7, 8, 9	1, 4, 6, 7, 8, 9, 10, 13, 16
	シーケンス	有		
	デジタルZOOM	有		
録画/再生 & バックアップ	録画レート	最大120fps	最大240fps	最大480fps
		30fps/ch@1920×1080		15fps/ch@1920×1080
		15fps/ch@2560×1440		15fps/ch@1280×1440
		10fps/ch@2560×1944		10fps/ch@1280×1944
	録画解像度	1944p、1440p、1080p、720p、960H		
	録画モード	連続、スケジュール、イベント(アラーム/モーション)、連続+イベント、緊急録画		
	検索モード	日付時刻、カレンダー、イベント、タイムライン、サムネイル		
ネットワーク	再生速度	x1/2~x1/120, x1, x2, x4, x8, x16, x32, 最大 100倍速		
	バックアップ	USBフラッシュメモリ/avi、dvr(独自フォーマット)		
	機能	帯域幅調整、DDNS、NTP、P2P		
ネットワーク	携帯端末	PC、Mobile Viewer (iPhone、Android)		
	クライアントアクセス	ライブ接続=10クライアント/再生接続=4クライアント		
操作方法		USBマウス		
電源		DC+12V 5A		
動作温度/湿度		-5~45℃ / 20~80% RH		
寸法 W:H:D mm		326 × 52 × 240		
重量 (HDD無し)		約1.15kg	約1.23kg	約1.30kg

※IP カメラ接続と入力(BNC)は排他利用となります。サポートプロトコルは、Onvif Profile-S となります。

6.2 外觀

— EDR-MV41/MV81/MV161 —



単位 : mm

6.3 保証と修理サービスについて

■ 保証書について

保証書は製品に添付されております。

必ず「販売店名・購入日」などが記入されている事を確認されるか、またはお客様のご購入日が確認できる書類（レシートなど）を保管してください。

保証内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げから 1 年

■ 保証期間中に修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書の記載内容により修理いたします。

■ 補修用性能部品について

補修用性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

■ ご連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・型名
- ご購入日（保証書をご覧ください）
- 故障内容
- 異常の状況（できるだけ詳しく）

■ 保証期間経過後、修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により、有料で修理いたします。

■ 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 長年ご使用の機器の点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリ、煙草の煙などの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります

愛情点検	このような症状はありませんか	ご使用中止
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を入れても映像が出ない。 ● 映像が時々、消えることがある。 ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源を切っても映像が消えない。 ● 内部に水や異物が入った。 	<p>故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店にご相談ください。</p>



品質保証書

お名前	様
ご住所	
製品名	デジタルビデオレコーダー
型名	EDR-MV41/MV81/MV161
機体番号	
ご購入日	年 月 日

保証期間 : 1ヶ年

本保証書は弊社の品質管理のもとに製造され諸検査に合格して出荷されたものであることを証明するものであります。

株式会社 エルモケイグランデ

東京都千代田区富士見2-7-2 ステージビルディング13階

【保証規定】

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理を致しますので、お買い上げ店が取扱説明書に記載

されている弊社サービス機関にお申し出ください。

尚、お買い上げ店または弊社サービス機関にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。

また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましては、輸送方法によって一部ご負担いただく場合があります。

2. 次の場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。

- (1)使用上の誤り（取扱説明書以外の誤操作等）により生じた故障
- (2)弊社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除等による故障および損傷
- (3)火災、塩害、ガス害、地震、風水害、公害、落雷、異状電圧およびその他の天災地変等による故障および損傷
- (4)お買い上げ後の輸送、移動、落下、保管上の不備等による故障および損傷
- (5)本保証書の添付のない場合
- (6)販売店名、ご購入年月日等の記載事項を訂正された場合

3. 本製品の故障に起因する付随的損害については補償致しかねます。

※ご注意

- 1. 本保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 2. 本保証書の表示について、ご不明な点は取扱説明書に記載されている弊社サービス機関にお問い合わせください。

【保証書取扱い上のご注意】

- 1. 本保証書をお受け取りの際は、販売店名及び購入年月日等が記入されているかどうかをご確認ください。もし、記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げ店へお申し出ください。
- 2. 本保証書は紛失されましても再発行致しませんので、大切に保存してください。
- 3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

【アフターサービスについて】

- 1. アフターサービスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

